

平成30年～令和3年度
劇場・音楽堂等機能強化推進事業
(劇場・音楽堂等機能強化総合支援事業)
自己点検報告書

団 体 名	公益財団法人東京都歴史文化財団
施 設 名	東京芸術劇場
助 成 対 象 活 動 名	舞台芸術の創造現場を魅せる劇場
助 成 期 間	5 (年間)
内 定 額	平成30年度 65,083 平成31年度 60,639 令和2年度 59,254 令和3年度 56,706 (千円)

1. 事業概要

(1) 事業計画の概要

全体図（概念図）

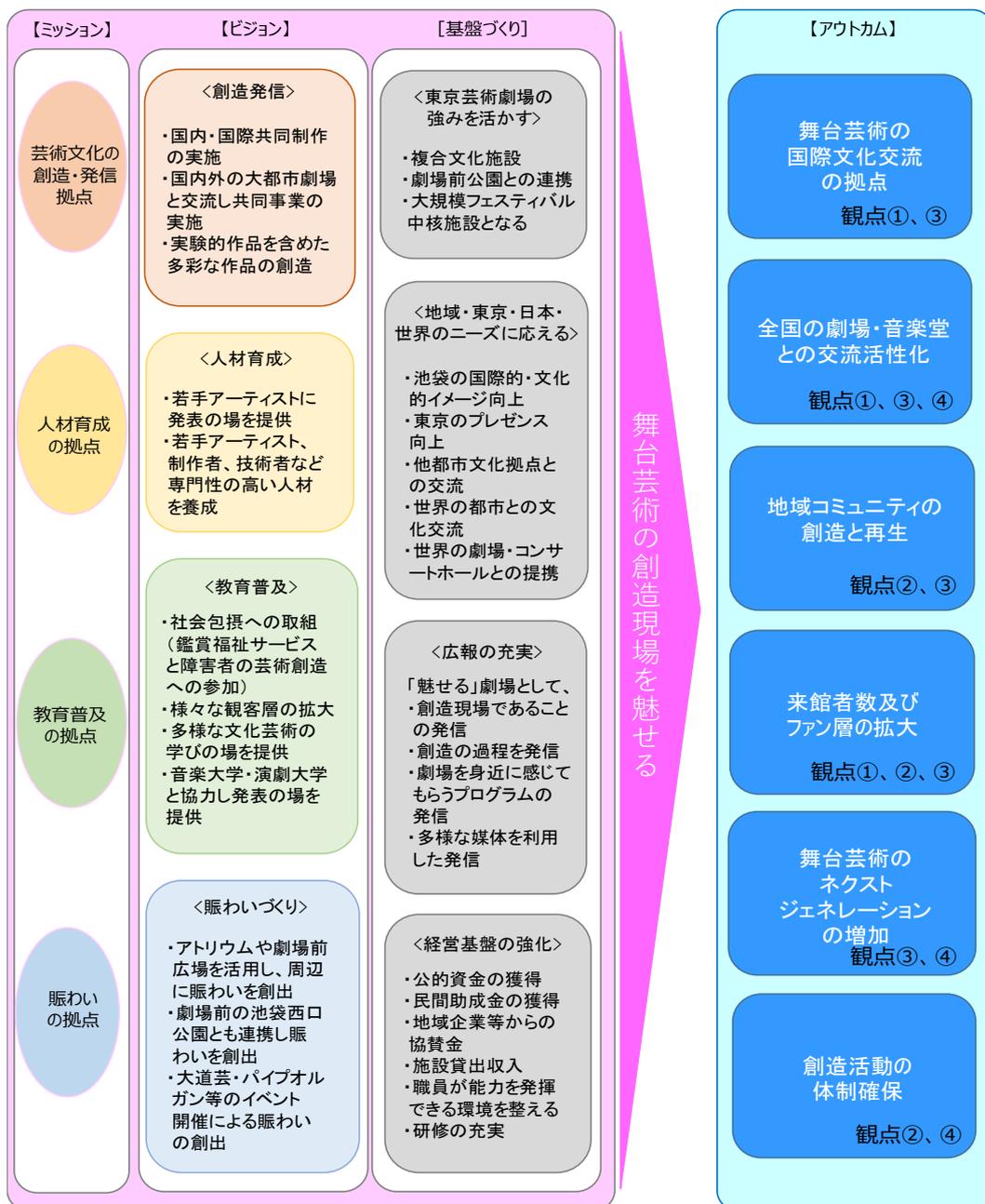
（事業名） 舞台芸術の創造現場を魅せる劇場

舞台芸術に感動することは、人々の心を豊かにするだけではなく、生きていく上での様々な障害・困難を乗り越える力（イノベーション力）を生み出します。しかしながら、舞台芸術の鑑賞を気軽に行うことには一般の市民には様々なハードルがあることも確かです。

東京芸術劇場は3800万人とも言われる首都圏の国民の日帰り可能圏の舞台芸術施設として、また、日々約270万人が利用するターミナル駅に隣接する公共劇場として、舞台芸術と親しむにあたっての社会的なハードルの除去を仕掛けていきます。

まずは、劇場・音楽堂が単なる建物でなく芸術を創造し続けている魅力ある現場であること、そこではアーティスト(演奏家、演技者、ダンサー等)によって、日々、刻々芸術作品が作られているのだということ、そして、舞台芸術の作品はそこにあるのではなく観客がいて初めて作品になるのだということ、それぞれの事業を行いながら発信していきます。

劇場・音楽堂が人生を通じて身近で親しまれる場所になっていくために、東京芸術劇場は「舞台芸術の創造現場を魅せる劇場」としての取り組みを進めます。



(2) 令和3年度実施事業一覧

番号	事業名	主な実施日程	概要 (演目、主な出演者、スタッフ等)	入場者・参加者数	
		主な実施会場		目標値	実績値
1	NEO-SYMPHONIC JAZZ at 芸劇	2021年7月30日 (金)	【曲目】挟間美帆／スプラッシュ・ザ・カラズ 他 【出演】指揮・作曲・編曲：挟間美帆、ヴォーカル：吉田沙良 他	目標値	1,400
		東京芸術劇場 コンサートホール		実績値	895※
2	海外オーケストラシリーズ	中止※	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により海外招聘が不可能となったため公演中止※	目標値	1,280
		中止※		実績値	—※
3	読売日本交響楽団演奏会 (マーラー『大地の歌』)	2022年1月28日 (金)	【曲目】マーラー／交響曲『大地の歌』 他 【出演】指揮：井上道義、テノール：宮里直樹、アルト：池田香織 他	目標値	1,400
		東京芸術劇場 コンサートホール		実績値	1,263
4	コンサートオペラ vol. 8 『アルルの女』	2022年1月8日(土)	【曲目】ビゼー／劇音楽『アルルの女』、プーランク／オペラ『人間の声』 【出演】指揮：佐藤正浩、ソリスト：森谷真理、朗読・語り：松重豊 他	目標値	1,300
		東京芸術劇場 コンサートホール		実績値	1,230
5	オルガン・ア・ラ・カルト (ナイト・ランチ・講座)	2021年4月～2022年 3月	【回数】ナイト：4回(1回中止※)、ランチ：4回、講座：3回 【出演】オルガン／小林英之、新山恵理、中野ひかり、大平健介 他	目標値	5,136
		東京芸術劇場 コンサートホール		実績値	6,109
6	0才から聴こう!&4才から聴こう! 春休みオーケストラコンサート	2022年3月19日 (土)	【曲目】ベートーヴェン／交響曲第7番、久石 譲／崖の上のポニョ 他 【出演】指揮：川瀬賢太郎、管弦楽：読売日本交響楽団 他	目標値	2,600
		東京芸術劇場 コンサートホール		実績値	1,994
7	音楽大学フェスティバル・オーケストラ	2022年3月27日(日)	【曲目】三善 晃／祝典序曲 他 【出演】指揮：下野竜也、管弦楽：音楽大学フェスティバル・オーケストラ(首都圏9音楽大学選抜オケ)	目標値	1,400
		東京芸術劇場 コンサートホール		実績値	※2
8	芸劇オーケストラ・アカデミー・フォー・ウインド	アカデミー：通年 演奏会：2022年2月	【回数】演奏会：3回、キャリアアップゼミ：8回 【講師】福川伸陽、青木昂、佐藤友紀、伊藤悠貴、岡田奏 他	目標値	600
		東京芸術劇場 シアターイースト		実績値	235
9	芸劇ジュニア・アンサンブル・アカデミー	2021年8月～2022年 2月	【回数】オーディション：1回、発表会：1回、レッスン：10回 【講師】鈴木優人、柳瀬省太、杉本真弓、渡邊千春、唐沢安岐奈 他	目標値	20
		東京芸術劇場 リハーサルルーム		実績値	19
10	TACT(シアター・アーツ・フォー・チルドレン&ティーンズ)フェスティバル2021(音楽編)	2021年5月1日 (土)～5日(水)※	新型コロナウイルス感染症の影響により本公演中止、一部公演を映像収録し無料配信にて公開※	目標値	2,000
		東京芸術劇場 コンサートホール※		実績値	2,661※
11	TACT(シアター・アーツ・フォー・チルドレン&ティーンズ)フェスティバル2021(演劇編)	2021年5月6日 (木)～9日(日)※	新型コロナウイルス感染症の影響により5月公演中止、一部公演延期(落語)8月6日(金)～8日(日)※	目標値	1,800
		東京芸術劇場 シアターウエスト※		実績値	522※
12	野上絹代演出「カノン」	2021年8月14日～9 月5日※	【回数】7回(12回中止※) 【出演】中島広稀、さとうほなみ 他 【多言語対応】英語字幕機の貸し出しサービス実施	目標値	3,000
		東京芸術劇場 シアターイースト※		実績値	1,102※
13	熊林弘高演出「パンドラの鐘」	—	コンテンツグローバル需要創出促進事業費補助金において採択されたため要望取下げ	目標値	3,200
		—		実績値	—

14	歌舞伎ひらき街めぐり～ 木ノ下裕一の古典で読み 解く江戸の東京講座～	収録：2021年7月～ 11月	【回数】3回（オンライン配信） 【出演】講師：木ノ下裕一、朗読： 大石将弘、永井茉莉奈、作曲・演奏： やまみちやえ	目標値	750
		東京芸術劇場 シン フォニースペース		実績値	3,447
15	佐々木蔵之介主演 森新 太郎演出「冬のライオ ン」	2022年2月26日（土） ～3月15日（火）	【出演】佐々木蔵之介／葵わかな、 加藤和樹、水田航生、永島敬三、浅 利陽介／高畑淳子 【スタッフ】演出：森新太郎 他	目標値	9,504
		東京芸術劇場 プレイハウス		実績値	9,210
16	芸劇 eyes 番外編『もし もし、こちら弱い派～ かそけき声を聴くために ～』弱さを肯定する社会 へ、演劇からの応答	2021年7月19日 （月）～25日（日）	【出演】「いいへんじ」飯尾朋花、 「ウンゲツイーファ」池田亮、「コ トリ会議」牛嶋千佳 各出演多数 【スタッフ】宣伝美術：一野篤 他	目標値	898
		東京芸術劇場 シアターイースト		実績値	767
17	芸劇 dance ダンス WS	夏期：2021年8月 冬期：2022年3月	【回数】23回 【講師】北尾亘、石川直樹、吉開菜 央、杉浦充、中瀬俊介、飯嶋久美子、 KO-nei	目標値	30
		東京芸術劇場 リハーサルルーム		実績値	14
18	東京演劇道場	2021年4月～2022年 3月※	【実施内容】道場生：自主稽古、オ ーディション参加 二期生オーディション開催 【審査員】野田秀樹、ノゾエ征爾 他	目標値	60
		東京芸術劇場 リハーサルルーム 他		実績値	100
19	東京芸術劇場プロフェッ ショナル人材養成研修	2021年4月～2022年 3月	【研修】長期コース（演劇分野、教 育普及分野）短期コース（音楽分野） 【講座】シアター・コーディネータ ー養成講座（全13回）開催	目標値	70
		東京芸術劇場 他		実績値	37
20	ワークショップ・ファシ リテーター養成講座、子 どものためのワークショ ップ（仮）、レクチャー	2021年4月～2022年 3月	【講座】舞台技術セミナー、こども のためのパイプオルガンツアー 他 【講師】中條秀一、高橋堅太 他	目標値	400
		東京芸術劇場 他		実績値	332

※ …新型コロナウイルス感染症の影響があったもの

※2…公演3/26-27開催のため実績報告書提出期限（3/24）時点記入不可（【参考値】入場者・参加者数実績値：1,041）

(3) 令和2年度実施事業一覧

番号	事業名	主な実施日程	概要 (演目、主な出演者、スタッフ等)	入場者・参加者数	
		主な実施会場		目標値	実績値
1	NEO-SYMPHONIC JAZZ at 芸劇	2020年8月16日(日)	【曲目】挟間美帆/RUN 他 【出演】指揮：挟間美帆、演奏：東京フィルハーモニー交響楽団 他	目標値	1,400
		東京芸術劇場 コンサートホール		実績値	604※
2	海外オーケストラシリーズ ※	2020年4月30日(木) 2020年9月29日(火) 2020年10月24日(土)	※新型コロナウイルス感染症予防措置による渡航制限等の影響により、公演中止	目標値	3,200
		東京芸術劇場 コンサートホール		実績値	0※
3	読売日本交響楽団演奏会 (マエストロシリーズ)	2020年12月4日(金)	【曲目】望月京/むすび 他 【出演】指揮：マキシム・パスカル、ピアノ：反田恭平、管弦楽：読売日本交響楽団	目標値	1,400
		東京芸術劇場 コンサートホール		実績値	1,304
4	東京芸術劇場 Presents プラスウィーク 2020	-	主催事業から提携事業に変更したため取 下げ申請済み	目標値	3,000
		-		実績値	-
5	モーツァルト/歌劇『フィ ガロの結婚』～庭師は見 た!～	2020年10月30日(金) 2020年11月1日(日)	【指揮・総監督】井上道義 【演出】野田秀樹 【出演】ヴィタリ・ユシュマノフ 他	目標値	3,000
		東京芸術劇場 コンサートホール		実績値	2,488
6	0才から聴こう!&4才か ら聴こう!春休みオーケ ストラコンサート	2021年3月24日(水) 2公演	【曲目】ドヴォルザーク/スラヴ舞曲第 1番 ハ長調 他 【出演】指揮：辻博之、サクソフォン：金 野龍篤、管楽器：読売日本交響楽団	目標値	2,600
		東京芸術劇場 コンサートホール		実績値	1,055
7	音楽大学フェスティバル・ オーケストラ ※	2021年3月27日(土)	※新型コロナウイルスの影響のため公演 中止	目標値	1,400
		東京芸術劇場 コンサートホール		実績値	0※
8	芸劇ウインド・オーケスト ラ・アカデミー	アカデミー：通年 演奏会：2021年2月13 日(土)、14日(日)	【講師】福川伸陽、木許裕介、岡田奏 他 【対象者】主に音楽大学を卒業した若手 演奏家	目標値	600
		東京芸術劇場 シアターイースト ほか		実績値	395
9	芸劇ジュニア・アンサンブ ル・アカデミー	オーディション：2020年8月 レッスン：2020年9月～ 2021年3月(うち10回) 発表会：2021年3月14日 (日)	【講師】セバスティアン・ヴァイグレ、 山田和樹、柳瀬省太、杉本真弓 他 【対象】音楽家を志す小中高校生	目標値	20
		東京芸術劇場 リハーサルルーム ほか		実績値	23

番号	事業名	主な実施日程	概要 (演目、主な出演者、スタッフ等)	入場者・参加者数	
		主な実施会場		目標値	実績値
10	オルガン・ア・ラ・カルト (ナイト・ランチ・講座) ※	[ナイトタイム] 2020年6月～2021年2月 [ランチタイム] 2020年7月～2021年3月 [講座] 2020年9月～2021年2月	【出演者】 [ナイトタイム] 今井奈緒子、 椎名雄一郎 他 [ランチタイム] 松浦光子、 長谷川美保、原田真侑 他 [講座] 小林英之、新山恵理 他 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、一部公演中止	目標値	6,736
		東京芸術劇場 コンサートホール		実績値	3,628※
11	TACT フェスティバル 2020 ※	2020年5月全日程中止 2020年11月13日(金) ～15日(日) 他 オンライン企画実施	『マキム!～カラダとコエとオンガクと～』 【出演】伊藤キム、森下真樹 他 『芸劇&読響 みんなでハモろう!』 【出演】鈴木優人(指揮)、石丸幹二(歌)、 読売日本交響楽団(演奏) ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、代替企画実施(その他事業は延期もしくは中止)	目標値	公演: 1,400・ 全体: 3,500
		東京芸術劇場 プレイハウス ほか		実績値	公演: 553※
12	木ノ下歌舞伎「三人吉三」 ※	2020年5月30日(土)～6 月1日(月) 他	※新型コロナウイルスの影響のため公演 中止	目標値	5,000
		東京芸術劇場 プレイハウス		実績値	0※
13	「赤鬼」	2020年7月24日(金・ 祝)～8月16日(日)	【作・演出】野田秀樹 【出演者・スタッフ】若手演劇人、 日比野克彦(美術・衣裳)、服部基(照明) 他	目標値	4,000
		東京芸術劇場 シアターイースト		実績値	2,516※
14	芸劇 dance 田中泯 『村のドン・キホーテ』 Yo! Don Quixote	2020年12月4日(金) ～6日(日)	【演目】「村のドン・キホーテ」 【出演者】田中泯、石原淋 他 【スタッフ】田中泯(空間演出)、 松岡正剛(言語演出) 他	目標値	1,650
		東京芸術劇場 プレイハウス		実績値	1,070
15	芸劇 dance ダンス WS	WS: 2020年8月～9月 公演: 2020年9月20日 (日)、21日(月・祝)	【講師・スタッフ】 北尾亘、木ノ下裕一、山口とも、大石始	目標値	513
		東京芸術劇場 シアターイースト 他		実績値	224※
16	東京演劇道場	通年	【実施内容】ワークショップ、記録映像 上映会、芸劇の自主事業の舞台稽古 他 【講師】野田秀樹 他	目標値	60
		東京芸術劇場 リハーサルルーム 他		実績値	60
17	東京芸術劇場 人材育成・ 教育普及	通年	【実施内容】バックステージツアー・劇 場ツアー、レクチャー、ワークショップ 他	目標値	2,900
		東京芸術劇場 他		実績値	812

※ …新型コロナウイルス感染症の影響があったもの

(4) 平成31年度実施事業一覧

番号	事業名	主な実施日程	概要 (演目、主な出演者、スタッフ等)	入場者・参加者数	
		主な実施会場		目標値	実績値
1	読響との事業提携シリーズ(マーラー交響曲第3番)	2019年12月6日(金)	【曲目】マーラー／交響曲第3番 二短調 【出演】指揮：井上道義 アルト：池田香織 コーラス：首都圏音楽大学合同コーラス(合唱指導：池田香織) 児童コーラス：TOKYO FM 少年合唱団 管弦楽：読売日本交響楽団	目標値	1,450
		東京芸術劇場 コンサートホール		実績値	1,677
2	海外オーケストラシリーズ「フィルハーモニア管弦楽団」	2020年 1月23日(木) 1月28日(火) 1月29日(水)	【曲目】 1月23日 ラヴェル／組曲『クーブランの墓』 シベリウス／ヴァイオリン協奏曲 二短調 op.47 ストラヴィンスキー／バレエ音楽『春の祭典』 1月28日 シベリウス／交響詩『大洋の女神』 op.73 ショスタコーヴィチ／ヴァイオリン協奏曲第1番 イ短調 op.77 ストラヴィンスキー／バレエ音楽『火の鳥』(1910年原典版) 1月29日 サロネン／『ジェミニ』：「ポルックス」、「カストール」*日本初演 マーラー／交響曲第9番 二長調 【出演】 指揮：エサペッカ・サロネン(首席指揮者&アーティストック・アドヴァイザー) ヴァイオリン：庄司紗矢香(1月23日・28日) 管弦楽：フィルハーモニア管弦楽団	目標値	6,400
		東京芸術劇場 コンサートホール		実績値	4,090

番号	事業名	主な実施日程	概要 (演目、主な出演者、スタッフ等)	入場者・参加者数	
		主な実施会場		目標値	実績値
3	東京ホワイトハンドコーラス	2019年4月7日(日) ～9月15日(日)	<p>音楽で共生社会をめざし、聴覚や視覚に障害のある子どもたちを中心としたサイン隊と声隊によるコーラス・グループ活動「東京ホワイトハンドコーラス(TWHC)」。</p> <p>定期的なワークショップを開催し、開かれたインクルーシブなコーラス隊を作ることを目指す。</p> <p>【サイン隊】聴覚に障害のある子どもたちを中心としたコーラス隊。歌詞からオリジナルの手歌を作り、発表していく。</p> <p>【声隊】視覚に障害のある子どもたちを中心としたコーラス隊。点字や墨字の歌詞、復習用の音源などを活用して練習を行う。</p> <p>また、歌の好きな晴眼の子どもたちも参加可能。</p> <p>【指導者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロンえりか(エル・システムジャパン芸術監督/東京ホワイトハンドコーラス指導担当) ・井崎哲也(東京ホワイトハンドコーラス指導担当) ・古橋富士雄(エル・システムジャパン音楽監督(コーラス)) 	目標値	40
		東京芸術劇場 リハーサル室など		実績値	40

番号	事業名	主な実施日程	概要	入場者・参加者数	
		主な実施会場	(演目、主な出演者、スタッフ等)	目標値	
4	東京芸術劇場 Presents プラスウィーク 2019	2019 年 ①9月29日(日) ②10月5日(土) ③10月31日(木)	<p>①9月29日(日) 東京吹奏楽団 第66回定期演奏会 【曲目】 E. グレグゾン／フェスティーボ C. サン＝サーンス(後藤洋編曲)／ 組曲『動物の謝肉祭』より C. A. ドビュッシー(W. A. シェーファ ー編曲)／『三つのノクターン』よ り「祭り」 三善晃／吹奏楽のための「深層の祭」 C. T. スミス／フェスティバル・バリ エーション D. R. ホルジンガー／古代の聖歌と祝 典の踊り H. O. リード／メキシコの祭り 【出演】 指揮：小林恵子(正指揮者) 演奏：東京吹奏楽団</p> <p>②10月5日(土) 東京佼成ウインドオーケストラ 第 145回定期演奏会 【曲目】 J. S. バッハ(D. ハンスバーガー編</p>	目標値	3,000

		<p>東京芸術劇場 コンサートホール 主な実施会場</p>	<p>曲) / 前奏曲とフーガ 変ホ長調 「聖アン」 BWV552 J. S. バッハ (P. グレインジャー編 曲) / 楽しい鐘の音 (『狩のカンタ ータ』 BWV208 より「羊は安らかに 草を食み」) J. S. バッハ (伊藤康英編曲) / ウイ ンド・アンサンブルのためのシャコ ンヌ (2017 年度版) 酒井健治 / デチューン [名古屋フィ ルハーモニー交響楽団との共同委嘱 新作] 高昌帥 / 吹奏楽のための協奏曲 【出演】 指揮：大井剛史 (正指揮者) 演奏：東京佼成ウインドオーケスト ラ ③10月31日(木) ブラック・ダイク・バンド 【曲目】 パーシー・コード：ゼルダ ピーター・グレイアム：バリトンの ための協奏曲 ポール・ロヴァット＝クーパー：ウ オーキング・ウィズ・ヒーローズ ホアキン・ロドリゴ：アランフェ ス協奏曲 アンディ・スコット：竜の巣 (ド ラゴンズ・デン) ピーター・グレイアム：“キャッ ツ・テイルズ”より“カタロニア” “キャットウォーク”“スキヤッ ト” ピーター・グレイアム：シャイン・ アズ・ザ・ライト 他 【出演】 指揮：ニコラス・チャイルズ (音楽 監督・首席指揮者) 演奏：ブラック・ダイク・バンド 司会：朝岡聡</p>	<p>実績値</p>	<p>3,434</p>
--	--	---------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------	--------------

番号	事業名	主な実施日程	概要 (演目、主な出演者、スタッフ等)	入場者・参加者数	
		主な実施会場		目標値	実績値
5	コンサート・オペラシリーズ vol.7	2019年10月26日(土)	【曲目】 ドビュッシー／『放蕩息子』 ビゼー／歌劇『ジャミレ』 【出演】 指揮：佐藤正浩 管弦楽：ザ・オペラ・バンド コーラス：国立音楽大学合唱団 ドビュッシー／『放蕩息子』 リア（母）：浜田理恵 シメオン（父）：ヴィタリ・ユシュマノフ アザエル（放蕩息子）：宮里直樹 ビゼー／歌劇『ジャミレ』 ジャミレ（女奴隷）：鳥木弥生 アルーン（王子）：樋口達哉 スプレンドィアーノ（使用人）：岡昭宏	目標値	1,200
		東京芸術劇場 コンサートホール		実績値	1,145
6	NHK 交響楽団 演奏会	2019年12月14日(土)	【曲目】 リムスキー・コルサコフ／スペイン 奇想曲 リスト／ピアノ協奏曲 第1番 変ホ 長調 チャイコフスキー／交響曲第1番 ト短調『冬の日の幻想』 【出演】 指揮：パブロ・エラス・カサド ピアノ：ダニエル・ハリトーノフ 管弦楽：NHK 交響楽団	目標値	1,500
		東京芸術劇場 コンサートホール		実績値	1,368
7	0才から聴こう！&4才から聴こう！春休みオーケストラコンサート	2020年3月31日(火) 公演中止	コロナウイルス感染拡大防止のため中止	目標値	2,600
		東京芸術劇場 コンサートホール		実績値	0
8	音楽大学オーケストラ・フェスティバル	2020年3月29日(日) 公演中止	コロナウイルス感染拡大防止のため中止	目標値	1,400
		東京芸術劇場 コンサートホール		実績値	0

番号	事業名	主な実施日程	概要 (演目、主な出演者、スタッフ等)	入場者・参加者数	
		主な実施会場		目標値	実績値
9	芸劇ウインド・オーケストラ・アカデミー	アカデミー：通年 年末演奏会： 2020年2月29日（土） 中止	【対象】 プロを目指す18歳～28歳程度まで。 音源審査・実技審査等のオーディションにて選出。 アカデミーには最大3年間在籍でき、キャリアアップゼミやアウトリーチ活動等のカリキュラム実施。 【アカデミーカリキュラム】 ＊演奏技術指導・演奏機会の提供 ・TACT FESTIVAL 2019 街角LIVE！ 2019年5月 ・アトリウムコンサート 2019年9月～12月 ・SaLaD ミニコンサート 2019年9月 ・年末演奏会中止 ＊キャリアアップゼミ アカデミー生のキャリアアップを図るため、キャリア関連講座として「ゼミ」を開催 【講師】 統括：東京芸術劇場 演奏技術指導：東京佼成ウインドオーケストラ キャリアアップゼミキューレーション：木許裕介	目標値	800
		東京芸術劇場 コンサートホールほか		実績値	参加者 16 年末演奏 会中止
10	芸劇ジュニア・アンサンブル・アカデミー	オーディション2019 年8月18日（日） レッスン：2019年9月 21日（土）～2020年2 月1日（土） 発表会： 2020年2月2日（日）	【対象】 小学校高学年～高校生 真剣に弦楽アンサンブル（ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス）に取り組む人 【講師】 伝田正秀（読売日本交響楽団コンサートマスター） 杉本真弓（読売日本交響楽団ヴァイオリン奏者） 柳瀬省太（読売日本交響楽団ソロ・ヴィオラ奏者） 渡邊千春（読売日本交響楽団ヴィオラ奏者） 松葉春樹（読売日本交響楽団チェロ奏者） 大槻健（読売日本交響楽団首席コントラバス奏者） ほか	目標値	20
		東京芸術劇場 シンフォニースペース ほか		実績値	30

番号	事業名	主な実施日程	概要 (演目、主な出演者、スタッフ等)	入場者・参加者数	
		主な実施会場		目標値	実績値
11	創造発信事業 RootsVol.7 野田作品野上絹代演出 「カノン」	2020年3月2日(月) ～3月15日(日) 全公演中止	コロナウイルス感染拡大防止のため 中止	目標値	4,000
		東京芸術劇場 シアターイースト		実績値	0
12	創造発信事業 朗読東京／自作自演	事業中止	事業中止(2019年8月31日付助成 対象活動計画変更承認書提出)	目標値	1,000
		—		実績値	—
13	ポッコちゃん～星新一 ショートショートセレク ション～	2019年5月30日(木) ～6月2日(日)	【演目】 1.「ポッコちゃん」(『ポッコちゃん』 所収) 2.「知人たち」(『たくさんのタブー』 所収) 3.「おーい でてこーい」(『ポッコち ゃん』所収) 4.「鏡」(『ポッコちゃん』所収) 5.「宇宙の男たち」(『宇宙のあいさ つ』所収) 6.「ひとつの装置」(『妖精配給会社』 所収) ※すべて新潮文庫刊 【作・演出】 原作：星新一 脚色・演出：チョン・インチョル 【出演】 韓国ナショナル・シアターカンパニ ー	目標値	966
		東京芸術劇場 シアターイースト		実績値	760
14	招聘公演 ローザス	①2019年5月9日 (木)～12日(日)	①Rosas「A Love Supreme～至上の 愛」 【振付】アンヌ・テレサ・ドウ・ケー スマイケル 【音楽】ジョン・コルトレーン<至上 の愛> 【出演】ローザス José Paulo dos Santos, Bilal El Had, Jason Respilieux, Thomas Vantuycom 【上演時間】約50分(途中休憩なし)	目標値	4,884
		②2019年5月18日 (土)・19日(日)		②Rosas「我ら人生のただ中であって ／バッハ無伴奏チェロ組曲」 【振付】アンヌ・テレサ・ドウ・ケー スマイケル 【音楽】J.S. バッハ<無伴奏チェロ 組曲> 【チェロ】ジャン＝ギアン・ケラス 【出演】ローザス Boštjan Antončič, Anne Teresa De Keersmaecker, Marie Goudot, Julien Monty, Michaël Pomero 上演時間：約2時間(途中休憩なし)	実績値
		東京芸術劇場 プレイハウス			

番号	事業名	主な実施日程	概要 (演目、主な出演者、スタッフ等)	入場者・参加者数	
		主な実施会場		目標値	実績値
15	TACT/FESTIVAL	2019年5月4日(土・祝)・5日(日・祝)・6日(月・休)	①1927『獣よ、子供よ、街に出よ!』 ②マサト先生のミュージック・エデュケーション・プログラム～リズム! リズム! リズム!～ ③ベイベー・ミュージックサロン～赤ちゃんと楽しむ本格的なバロック音楽～ ④WONDER WATER + Rinne + MASK ⑤ひびのこづえプロデュース『いきものブローチ作り』 ⑥田中泯『場踊り』 ⑦『ゆるゆる休憩所 モモンガ・ハウス』 ⑧芸劇ウインド・オーケストラ・アカデミー アトリウムコンサート ⑨街角 LIVE!	目標値	5,000
		東京芸術劇場ほか		実績値	6,510

番号	事業名	主な実施日程	概要	入場者・参加者数	
		主な実施会場	(演目、主な出演者、スタッフ等)	目標値	
16	オルガン・ア・ラ・カルト (ナイト、ランチ、講座)	<p>【ナイトタイム】 2019年4月18日 (木)、6月20日(木)、 8月29日(木)、10月 17日(木)、2020年2 月13日(木)</p> <p>【ランチタイム】 2019年5月23日 (木)、7月18日(木)、 9月26日(木)、11月 14日(木)、2020年1 月16日(木) 3月12日(木)公演中止</p> <p>【講座】 2019年5月27日 (月)、8月01日(木)、 9月26日(木)、11月 14日(木)、2020年1 月16日(木)</p>	<p>【ナイトタイム】 Vol.26 2019年04月18日(木) オルガン：湯口依子 Vol.27 2019年06月20日(木) オルガン：小林英之 Vol.28 2019年08月29日(木) オルガン：原田靖子 サクソフォーン：蓼沼雅紀 Vol.29 2019年10月17日(木) オルガン：ピエール・ダミアノー・ペ レッティ Vol.30 2020年02月13日(木) オルガン：新山恵理 作曲&指揮：松下耕 合唱：The Metropolitan Chorus of Tokyo</p> <p>【ランチタイム】 Vol.132 2019年5月23日(木) オルガン：都築由理江 Vol.133 2019年7月18日(木) オルガン：小野なおみ Vol.134 2019年9月26日(木) オルガン：安 杏菜 Vol.135 2019年11月14日(木) オルガン：森 亮子 Vol.136 2020年1月16日(木) オルガン：川越聡子</p> <p>【講座】 第77回 2019年5月27日(月) 芸 劇のオルガンを弾こう！ 第78回 2019年8月01日(木) 夏 休み -特別編- 芸劇のオルガンを たっぷり楽しもう 第79回 2019年9月26日(木) - 音づくりのひみつ Vol.1- ~フラン ス・シンフォニック~ 第80回 2019年11月14日(木) - 音づくりのひみつ Vol.2- ~フラン ス古典(バロック)~ 第81回 2020年1月16日(木) - 音づくりのひみつ Vol.3- ~ドイツ ~</p>	目標値	6,736
		東京芸術劇場 コンサートホール	実績値	6,272	

番号	事業名	主な実施日程	概要 (演目、主な出演者、スタッフ等)	入場者・参加者数	
		主な実施会場		目標値	実績値
17	バックステージツアー	バックステージツアー 2019年7月21日(日) 劇場ツアー 7月～3月	<ul style="list-style-type: none"> ・バックステージツアー Vol.11「劇場のお仕事プレイハウス編」 ・劇場ツアー スタッフ：劇場スタッフ、ファシリテーター	目標値	200
		東京芸術劇場 プレイハウスほか		実績値	355
18	公演関連レクチャー	2019年5月5日(日・祝) 2019年6月7日(金) 2019年8月30日(金) 2019年9月20日(金)	2019年5月5日(日・祝) Rosas『A Love Supreme～至上の愛』・『我ら人生のただ中において／バッハ無伴奏チェロ組曲』公演関連レクチャー 10代からの鑑賞講座～コンテンポラリーダンス編～ Rosas(ローザス)の魅力とその楽しみ方 講師：越智雄磨 2019年6月7日(金) 「NEO SYMPHONIC JAZZ at 芸劇2019」公演関連レクチャー 管弦楽とジャズのコラボレーションを楽しむ！ 講師：挟間美帆 モデレーター：小室敬幸 2019年8月30日(金) 芸劇こどものアトリエ「地図のワークショップ」 講師：藤田貴大 2019年9月20日(金) ドビュッシー/『放蕩息子』&ビゼー/歌劇『ジャミレ』公演関連レクチャー 砂漠からの風を感じて ～異国情緒とオペラ界～ 講師：岸純信	目標値	300
		東京芸術劇場 シンフォニースペース ほか		実績値	184

番号	事業名	主な実施日程	概要 (演目、主な出演者、スタッフ等)	入場者・参加者数	
		主な実施会場		目標値	実績値
19	舞台技術セミナー	2019年6月11日(火)	<p>劇場で活躍する舞台技術スタッフのためのフルハーネス型墜落制止用器具特別教育</p> <p>【対象】フリーランスの舞台技術スタッフで、フルハーネス型墜落制止用器具を用いる業務に従事する方</p> <p>【講義内容】 I. 作業に関する知識 II. 墜落制止用器具に関する知識 III. 労働災害の防止に関する知識 IV. 墜落制止用器具の使用方法 V. 関係法令</p> <p>【講師】 新島啓介・渡邊武彦(東京芸術劇場舞台管理担当)</p>	目標値	70
		東京芸術劇場 リハーサルルームL		実績値	22
20	東京芸術劇場プロフェッショナル人材養成研修	通年	<p>【目的・対象】 公立文化施設等の公的機関や芸術団体、または今後東京で行われるフェスティバル事業等で活躍することを目指す若手人材に対し、プロデューサーやコーディネーターとしての資質の向上、又は舞台芸術分野へのキャリアチェンジに資することを目的とする。</p> <p>【研修コース】 長期コース(10か月程度) 短期コース(3か月程度) 分野: 演劇制作・音楽制作・教育普及 研修内容: 現場経験、座学、他館研修 講師: 館内職員、ほか外部の専門人材</p> <p>【シアター・コーディネーター養成講座<劇場ツアー編>】 研修内容: 基礎講座、演習、企画案提出 講師: 多和田真太良、館内職員、ほか外部の専門人材</p>	目標値	6
		東京芸術劇場ほか		実績値	のべ33

番号	事業名	主な実施日程	概要 (演目、主な出演者、スタッフ等)	入場者・参加者数	
		主な実施会場		目標値	
21	東京演劇道場	通年	<p>1. ワークショップ</p> <p>①2019年5月27日(月)～5月31日(金) 講師：野田秀樹芸術監督</p> <p>②2019年5月28日(水) 講師：井手茂太</p> <p>③2019年8月5日(月)～8月7日(水) 講師：野田秀樹芸術監督</p> <p>④2019年8月12日(月)～8月17日(土) 講師：エリック・マレット</p> <p>⑤2019年11月23日～12月12日(木) 講師：リロ・パウワー</p> <p>⑥2020年1月10日・14日 講師：黒田育世</p> <p>⑦2020年1月15日(水)～16日(木) 講師：野田秀樹芸術監督</p> <p>⑧2020年2月4日(火)・6日(木) 講師：井手茂太</p> <p>⑨2020年2月10日(月)・14日(金) 講師：柴幸男</p> <p>2. 参加メンバーによるクリエイションのための自主稽古 日程：不定期</p>	目標値	30
		東京芸術劇場 リハーサル室ほか		実績値	60

(5) 平成30年度実施事業一覧

番号	事業名	主な実施日程	概要 (演目、主な出演者、スタッフ等)	入場者・参加者数	
		主な実施会場		目標値	実績値
1	読響による事業提携シリーズ マーラー交響曲第8番『千人の交響曲』	2018年10月3日(水)	指揮：井上道義管弦楽：読売日本交響楽団	目標値	1,650
		東京芸術劇場コンサートホール		実績値	1,730
2	海外オーケストラシリーズ 「パリ管弦楽団」	2018年12月16日(日)	ベルク／ヴァイオリン協奏曲「ある天使の思い出に」 マーラー／交響曲 第1番 二長調「巨人」 指揮：ダニエル・ハーディング、ヴァイオリン：イザベル・ファウスト、管弦楽：パリ管弦楽団	目標値	1,535
		東京芸術劇場コンサートホール		実績値	1,409
3	エル・システム・フェスティバル2018	ガラコンサート 2018年12月1日(土)	指揮：エンルイス・モンテス・オリバー、 出演者：福島県相馬市、岩手県大槌町、長野県駒ヶ根市の子どもオーケストラ、東京ホワイトハンドコーラス サイン隊・声隊 (指揮・指導：コロネりか、指導：井崎哲也、指導：土野研二)、ララ・ソモス	目標値	1,500
		東京芸術劇場コンサートホール		実績値	1,128
4	東京芸術劇場 Presents プラスウィーク2018 バンドクリニック『中・高生のための楽しい吹奏楽』	2018年9月9日(日)	講師：オオサカ・シオン・ウインド・オーケストラ、シエナ・ウインド・オーケストラ、東京佼成ウインドオーケストラ、東京吹奏楽団、広島ウインドオーケストラ	目標値	100
		東京芸術劇場コンサートホール		実績値	104
5	コンサート・オペラシリーズ 藤倉大：オペラ『ソラリス』(全幕)	2018年10月31日(水)	指揮：佐藤紀雄、管弦楽：アンサンブル・ノマド、エレクトロニクス：永見竜生、出演：三宅理恵、サイモン・ベイリー、トム・ランドル、森雅史、ロリー・マスグレレイヴ	目標値	1,550
		東京芸術劇場コンサートホール		実績値	1,424
6	藤田貴大 『BOAT』	2018年7月16日(月・祝)～7月26日(木)	上演台本・演出：藤田貴大 出演：宮沢氷魚、青柳いづみ、豊田エリー、川崎ゆり子、佐々木美奈、長谷川洋子、石井亮介、尾野島慎太郎、辻本達也、中島広隆、波佐谷聡、船津健太、山本直寛、中嶋朋子	目標値	7,500
		東京芸術劇場プレイハウス		実績値	5,012
7	RooTS Series「書を捨てよ町へ出よう」	2018年10月7日(日)～10月21日(日)	原作：寺山修司 上演台本・演出：藤田貴大 出演：佐藤緋美、青柳いづみ、川崎ゆり子、佐々木美奈、召田実子、石井亮介、尾野島慎太郎、辻本達也、中島広隆、波佐谷聡、船津健太、山本達久	目標値	2,680
		東京芸術劇場シアターイースト		実績値	3,776
8	橋爪功主演「父」	2019年2月2日(土)～2月24日(日)	作：フロリアン・ゼレール 演出：ラディスラス・ショラー 出演：橋爪功、若村麻由美、壮一帆、太田緑ロランス、吉見一豊、今井朋彦	目標値	5,400
		東京芸術劇場シアターイースト		実績値	5,417
9	朗読東京／自作自演	2019年1月24日(木)～1月26日(土) ／2018年8月2日(木)	[朗読東京] 演出：長部聡介 出演：西田尚美×豊田エリー、佐々木蔵之介×八十田勇一、板尾創路×梶原善 [自作自演]出演：永井愛×長田育恵	目標値	1,030
		東京芸術劇場シアターイースト		実績値	771
10	勅使川原三郎『月に憑かれたピエロ』	2018年12月1日(土)、12月2日(日)、12月4日(火)	振付・美術・照明・美術・衣装：勅使川原三郎 出演：勅使川原三郎、佐東利穂子歌：マリアヌス・スプーール 指揮：ハイメ・ウイルソン	目標値	1,740
		東京芸術劇場プレイハウス		実績値	1,355

番号	事業名	主な実施日程	概要 (演目、主な出演者、スタッフ等)	入場者・参加者数	
		主な実施会場		目標値	実績値
11	芸劇 dance 愛知県芸術劇場 提携プロジェクト『Stars Dance Concert2019』	2019年3月8日(金)、3 月9日(土)	ダンサー：マニュエル・ルグリ、オルガ・ スミルノワ、シルヴィア・アツォーニ、 セミョン・チュージン 音楽家：三浦文彰、田村響、滝澤志野	目標値	3,350
		東京芸術劇場コンサート ホール		実績値	2,897
12	オルガン・ア・ラ・カルト	2018年4月26日(木)ほか	ナイトタイム：小林英之、新山恵理、平井 靖子、川越聡子、原田圭、近藤岳、シモー ネ・ヴェッパ、ダニエル・ザレツキー ランチタイム：新山恵理、平井靖子、荒井 牧子、富田真希、佐藤礼子、長田真実、石 丸由佳 ほか	目標値	6,136
		東京芸術劇場コンサート ホール		実績値	6,101
13	人材育成・教育普及 バックステージツアー	2018年6月3日(日)	内容：照明、音響、舞台機構など普段公演 では見ることができないバックステージ を紹介。参加者は照明や音響の機材を実際 に触り、動かし、裏方の仕事を体験する。 スタッフ：東京芸術劇場 音響担当、照明 担当、人材育成・教育普及担当、 明治座 舞台 音響担当、照明担当	目標値	350
		東京芸術劇場プレイハウ ス		実績値	79
14	0才から聴こう！&4才から 聴こう！春休みオーケストラ コンサート	2019年3月27日(水)	指揮：鈴木優人、ナビゲーター：中井美穂、 ソリスト：三村梨紗、管弦楽：読売日本交 響楽団	目標値	2,900
		東京芸術劇場コンサート ホール		実績値	2,481
15	TACT/FESTIVAL ブランカ・リ ー『Solstice(ソルスティス) —夏至／冬至』	2018年6月29日～7月1 日(日)	振付・演出：ブランカ・リー 音楽：タオ・ ギュティエレス 出演：ブランカ・リー・ ダンスカンパニー ほか	目標値	2,000
		東京芸術劇場プレイハウ スほか		実績値	1,498
16	人材育成・教育普及 公演関連レクチャーシリーズ	2018年9月22日(土)ほ か	・コンサートオペラ vol.6『ソラリス』公 演関連レクチャー ・「障害とパフォーマンス・アーツ」レク チャー 講師：藤倉大×沼野充義、鴻英良、Ping Chong×鈴木京子	目標値	120
		東京芸術劇場リハーサル ルームL ほか		実績値	133
17	音楽大学フェスティバル・オ ーケストラ演奏会	2019年3月30日(土)	指揮：小林研一郎、管弦楽：音楽大学フ ェスティバル・オーケストラ 曲目：ベルリオーズ／序曲『ローマの謝 肉祭』、チャイコフスキー／序曲『1812 年』ほか	目標値	1,400
		東京芸術劇場コンサート ホール		実績値	—
18	芸劇ウインド・オーケストラ・ アカデミー	アカデミー：通年 演奏会：2019年3月1日 (金)	[アカデミー] 講師：下野竜也、東京佼成ウインドオーケ ストラ 他 スタッフ：東京芸術劇場(統括)、東京佼 成ウインドオーケストラ(演奏技術指導)、 上野学園大学(キャリアアップゼミ) [演奏会] 指揮：下野竜也、ソプラノ：木下美穂子 芸劇ウインド・オーケストラ・アカデミー 東京佼成ウインドオーケストラ	目標値	800
		東京芸術劇場 コンサー トホール、リハーサルル ーム ほか		実績値	416(演奏 会) 20(メンバ ー)
19	芸劇ジュニア・アンサンブル・ アカデミー	2018年7月7日(土)ほか	講師：伝田正秀、杉本真弓、柳瀬 省太、 正田響子、渡邊 千春、富岡廉太郎、松葉 春樹、大槻 健	目標値	10
		東京芸術劇場リハーサル ルームほか		実績値	29

番号	事業名	主な実施日程	概要 (演目、主な出演者、スタッフ等)	入場者・参加者数	
		主な実施会場		目標値	実績値
20	人材育成・教育普及 舞台技術セミナー	2018年6月5日(火)	講師：石丸耕一、金子彰宏、兼子紳一郎、 渡辺隆行	目標値	120
		東京芸術劇場プレイハウス		実績値	141
21	東京芸術劇場プロフェッショナル人材養成研修	通年	内容：公開レクチャー、館内ゼミ、外部研修 講師：東京芸術劇場職員、綿江彰禪、福井学、杉浦太一、樽松大剛、朝倉由希、関鎮京、秋野有紀ほか	目標値	205
		東京芸術劇場ほか		実績値	2
22	俳優向けワークショップ	2018年10月21日(日)～ 10月25日(木)ほか	講師：リロ・パウアー、永井愛、スチュアート・メルトン、デイヴィッド・ギルバート	目標値	298
		東京芸術劇場 シンフォニースペース ほか		実績値	231

2. 自己評価

(1) 妥当性 (平成30年～令和3年度 4か年分)

自己評価

事業計画に必要な構成要素が有機的に連関し、当初の予定通りに事業が進められているか。

当劇場は、平成2(1990)年に開館し、平成20(2008)年のあり方検討により創造発信型劇場へと舵を切った。それを受けて芸術監督を迎え、ハード面でも大規模改修を行い、平成24(2012)年にリニューアルオープン後、令和4年度(2022年)で10年目を迎えたところである。

そのミッション(社会的役割)は、「芸術文化の創造発信」「人材育成」「教育普及」「賑わいの醸成」であり、東京・日本の芸術文化のハブ(創造発信・交流拠点)となるというビジョンをもち、東京・池袋地域の特性、当劇場の強みや特色を生かし、また、取り巻く社会変化やニーズを踏まえて、それら構成要素を連関させながら、「舞台芸術の創造現場を魅せる劇場」事業を展開してきた。

この4年間においては、以下の変化に対応しながら事業を展開した。

◎東京・池袋地域の特性・ニーズの変化

平成30(2018)年度には、池袋西口公園が改修工事のため、劇場前は壁に囲われていた。平成31(2019)年度の秋に池袋西口公園野外劇場グローバルリングシアターがオープンし、また、豊島区が東アジア文化都市に選ばれ日中韓の都市による文化交流を行い、文化芸術イベントを集中的に実施した。令和2(2020)年度は、新型コロナウイルス感染症拡大によりオリパラが延期。令和3(2021)年度も、年間にわたり新型コロナウイルス感染症の影響により、オリパラパブリックビューイングなどイベントの中止が相次いだ。今後については、当劇場と隣接する池袋駅西口地区5.9haの再開発計画が令和14(2032)年の一部供用開始を目指し進行している。

◎当劇場を取り巻く社会とニーズの変化：

当劇場で行われる助成対象事業を含む全自主事業は、東京2020大会の文化プログラム「Tokyo Tokyo FESTIVAL」と位置付けられた。また、平成30(2018)年度には、大規模音楽祭「サラダ音楽祭」がスタートし、これまで行われていた東京芸術祭に加え、当劇場を中心とした多様なフェスティバルが開催されるようになった。東京2020大会の延期に伴い、令和3(2021)年9月5日まで「Tokyo Tokyo FESTIVAL」が継続となった。年度末には、東京2020大会の終了、新型コロナウイルス感染症の影響、持続・共生社会へのシフト、デジタル化の進展など、社会環境が大きく変化しているタイミングを捉え「東京文化戦略2030」が策定され、その中で、「都立文化施設が芸術文化のハブとなり、共同制作・人材交流・情報の中心的な役割を担えるようにする。」という方向性が示された。「東京文化戦略2030」は、令和4(2022)年度から令和12(2030)年度までの長期計画である。(「東京文化戦略2030 デジタルブック」より)

以下、4年間の事業計画の実施総括を記載する。

平成30(2018)年度：

事業計画の初年度は、軽微な変更はあるものの、概ね予定どおりの事業を実施することができ、アウトカムの発現に向けて順調に進められた。

平成31(2019)年度：

11月、野外劇場グローバルリングシアターとしてリニューアルオープンし、フィルハーモニア管弦楽団来日公演時には、豊島区がイルミネーションとフィルハーモニア管弦楽団映像コンサートを開催し、地域と一体化した企画を行い連携が強化されたと共に、最新のデジタル技術(VR)体験ができる新たな企画を実施した。しかし、2月末から3月の事業に関しては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、助成対象事業についても、「0才から聴こう！&4才から聴こう！春休みオーケストラコンサート」「カノン」など5事業21公演を

中止した。その他の事業については、概ね予定どおり実施することができており、事業計画全体に齟齬は生じていないと自己評価している。

令和2(2020)年度：

前年度末からのイベント自粛要請が続き、さらに4月7日からは約2か月間の臨時休館となり、その後、徐々にイベント開催制限が緩和されるも、音楽系は6月18日から、演劇系は7月24日からの公演再開となった。再開後も入場人数の制限や開館時間の短縮を余儀なくされた。当館としては、業界ごとの再開のガイドライン策定に協力し、それに沿って可能な限り事業を実施するよう取り組んだが、その時々々の感染状況により作品創造や海外招聘などの事業の実施が困難となり、助成対象事業では、7事業21公演を中止または延期、1事業をオンラインプログラムに内容変更することとなった。

令和3(2021)年度：

4年目となる令和3(2021)年度も、緊急事態宣言、まん延防止、リバウンド防止などの措置が出され、春には2週間強の休館もあり、コロナ禍に対応した運営が続いた。イベント制限は徐々に緩和されたものの、お客様の出控え、買い控えはほぼ1年間続いた。また、水際対策は厳しいままで、海外からの招聘はほぼ叶わず、助成対象事業では、5事業61公演を中止または延期、1事業をオンラインプログラムに内容変更、当初よりオンラインとして2事業を実施した。

延期した東京2020大会の期間中には、芸劇オーケストラ・アカデミー・フォー・ウインドのメンバーが毎日アトリウムでコンサートを開催するなど、コロナ禍の人々の心に潤いをもたらした。

コロナ禍によるアウトプットの遅れや変更はあったものの、6つのアウトカム実現の方向性は変わらず、4年間で確実に質的变化をもたらしていると自己評価する。

自己評価

助成に値する文化的、社会的、経済的意義等が継続して認められるか。

◎文化的意義（文化芸術の水準がどのように向上したか。）：

それぞれの部門において以下のとおり、最上級の作品を創作、招聘し、日本の国民に鑑賞の場を提供した。
（詳しくは「創造性」を参照）

音楽部門

パリ管弦楽団（H30）、サロネン/フィルハーモニア管弦楽団（H31）など、最上級の鑑賞の場の提供を目的に開催。R2、R3は新型コロナウイルス感染症拡大により2年間招聘できず、サイモン・ラトル指揮ロンドン交響楽団はR4に延期して開催予定。演奏される機会の少ない作品を演奏会形式で上演することを目的に実施している「コンサート・オペラシリーズ」での藤倉大『ソラリス』の日本初演、野田芸術監督の演出作品『フィガロの結婚』再演（R2）など、企画主旨が高く評価されたと共に、職員の制作能力向上につながる作品制作過程も評価され、今後の文化創造の継続的実現に貢献した。

ダンス部門

勅使川原三郎『月に憑かれたピエロ』（H30）、現代ダンスにおける最高峰のカンパニー「ローザス」の招聘（H31）、田中泯『村のドン・キホーテ』（R2）など、舞踊芸術の世界最前線かつ唯一無二の作品世界を見せ続けている。令和3年度は、仏シャイヨー劇場との国際共同制作でダンス公演を計画していたが、コロナ禍により中止となった。

演劇部門

実験的な作品を含めた多彩な作品の上演というビジョンの実現として、広い観客に向けた上質な作品の上演から若手起用による実験的上演までバラエティに富むラインナップを継続的に実現した。上質な作品としては、「父」（H30）、「冬のライオン」（R3）。いずれも非常に高い評価を得た。一方、若手起用による実験的上演としては藤田貴大が「書を捨てよ、町に出よう」（H30）、野田秀樹脚本「カノン」では野上絹代を起用（H31）。野田芸術監督自らは、自らの代表作「赤鬼」を東京演劇道場のメンバーにより上演（R2）、英語字幕をつけてYouTube配信して51,240アクセスを得たほか、EPAD、シビウ国際フェスティバルでも配信され、世界に日本現代演劇の最前線を届けた。また芸劇 eyes 番外編「もしもし、こちら弱い派」では注目最前線の劇団を起用した。

海外からの公演としては、TACT フェスティバルで子供も大人も楽しめる質の高いフィジカルシアターをH30、H31に招聘。「ポッコちゃん」（H31）は韓国ナショナル・シアターカンパニーとの継続的協働の一環。

◎社会的意義（劇場の社会的役割を認識し、地域社会に対してどのように貢献したか。）

当館にとっての「地域」は地理的には豊島区、池袋エリアであるが、首都東京都の劇場であることから広域の東京をも自らの拠って立つ「地域」と考え、地域コミュニティの創造と再生というアウトカム実現に継続的に取り組んでいる。

地域における共生社会実現への貢献

H29 からインクルーシブな合唱団「ホワイトハンドコーラス」のワークショップを継続的に実施。その発表の場として、『エル・システマ・フェスティバル』を開催（H30）、エルシステマ発祥の地ベネズエラから障害をもつ音楽家集団を招聘し、日本の障害をもつ子も持たない子も一緒に共演するインクルーシブなフェスティバルを開催した。NHKがドキュメンタリー番組を制作、R3にはオペラや「第九」公演に出演するまでの実力を備える合唱団に成長している。

地域のあらゆる世代、あらゆる人々への芸術体験の場を提供

『0才&4才からのコンサート』の継続的開催（H31はコロナ禍により中止）、また『こども落語（TACT）』、子供たちや子育て中のファミリーなど芸術にアクセスしづらい世代に芸術体験の場を提供している。

様々なフェスティバルでは、グローバルリングや近隣商業施設、館内アトリウム、劇場前広場も含めたパブリックスペースを活用するというビジョンを、音楽生演奏や田中泯の場踊りなどのパフォーマンス等バラエティあふれるアウトプットにより具現化し、地域コミュニティの創造と再生というアウトカム実現に継続的に取り組んでいる。

地域のネクストジェネレーション育成への貢献

レクチャー、ワークショップなどの教育普及的事業については、この助成により発展的な取り組みが可能になり、公演事業に付随した内容を脱して、単独の目的を持った事業に成長させることができた。俳優向けのワークショップは平成31年からは東京演劇道場に引き継がれ、メンバーを絞って継続的に若手を育成する方向に転換、また、『芸劇オーケストラ・アカデミー・フォー・ウインド』『芸劇ジュニア・アンサンブル・アカデミー』、野田芸術監督自らが指導する『東京演劇道場』による若手アーティスト・演劇人の育成事業を継続的にを行い、地域の中高生の指導者としての役割を果たすなど、舞台芸術に携わるネクストジェネレーションの育成に貢献した。

◎経済的意義（劇場の活動が、地域経済や国民生活にどのような変化をもたらしたか。）

オルガンランチタイムコンサート500円、ナイトタイムコンサート1,000円など、安価な価格で参加できる公演や劇場体験の提供により、近隣の人々を呼び込み、参加後の劇場内や近隣での滞留によるテナント及び劇場周辺の近隣店舗などへの波及効果に貢献した。

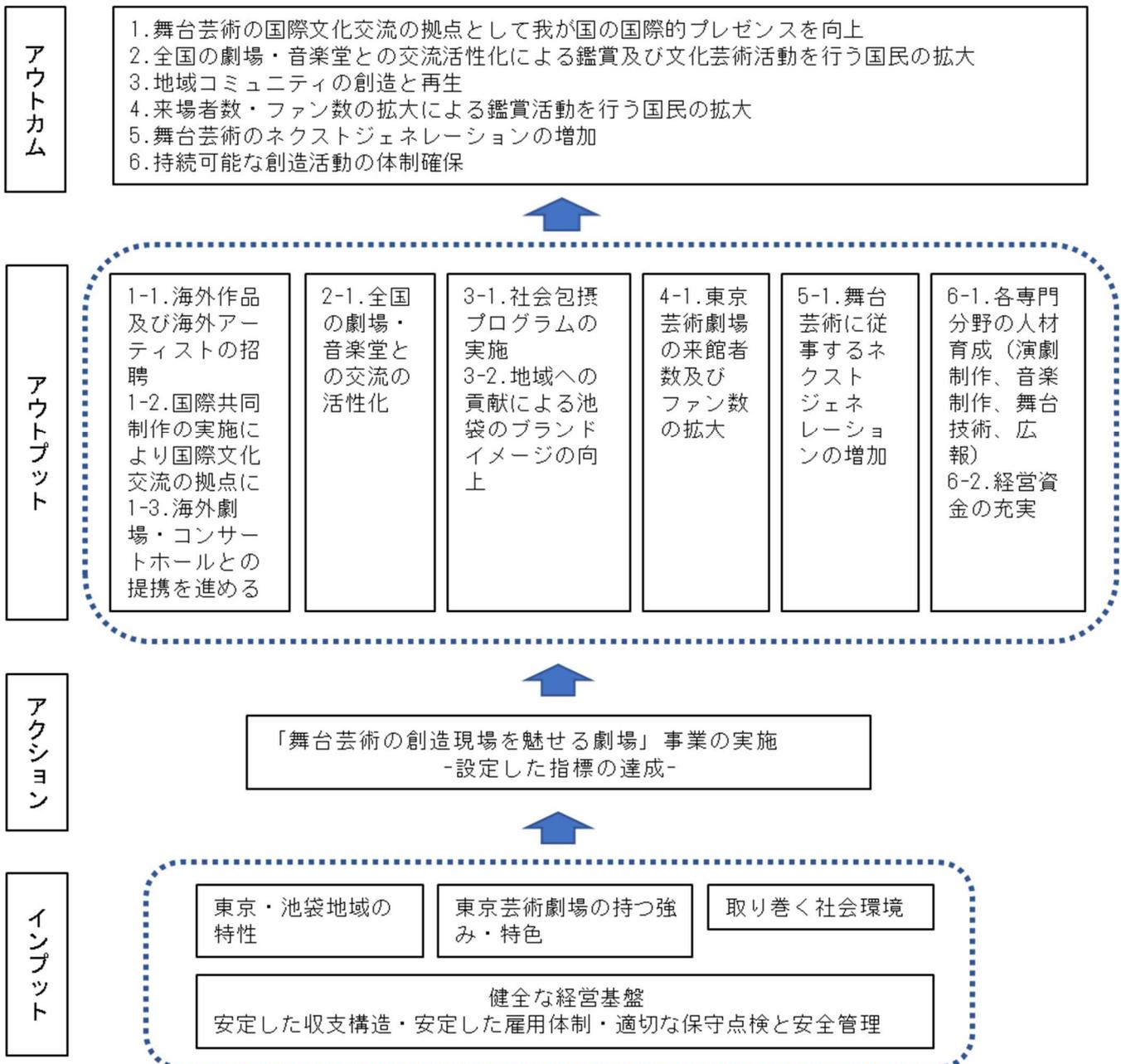
コロナ禍においては、可能な限り公演や事業を実施することで、消費、経済を活性化させると共に、キャンセルにより困窮するアーティストや舞台芸術関係者の仕事が継続するよう努力した。中止にせざるを得なかった場合にも、極力延期、または映像など代替企画を実施した。配信については、当館ではいち早くネット環境を整えたことにより、音と画像の時差が少ない高品質の配信が可能となり、積極的に実施している。地方や海外在住の方など物理的に劇場に来られない方をはじめとし、劇場を敷居が高いと感じる若年層も廉価なチケット代でライブの雰囲気体験できる。アーカイブ配信の場合は自分のライフスタイルに合わせて鑑賞できることなどから、新たな観客層の開拓につながった。助成によりコロナ下でも活動を継続する経済的支えを頂いたことから、生の鑑賞では得られない情報を含んだコンテンツの作成にも取り組んでノウハウを蓄積した。配信は、コロナによる一過性のものではなく、新たな製品特性をもち、新たなマーケットを魅了するソフトとして今後取り組みに注力したい。

(2) 有効性 (平成30年～令和3年度 4か年分)

自己評価

目標を達成し、アウトカムの発現は可能か。

平成30年度～令和4年度までの5年間のロジックモデルは以下のように考え実践してきている。



上図のとおり、本事業計画では、アウトカムの発現を目的に6の目標と10の指標を定めた。それぞれの目標・指標に対する実績は以下のとおりであり、コロナ禍による若干の遅れはあるものの、オンラインの活用により新たなアウトプットが実現されるなど、それぞれのアウトカムにおいて質的变化をもたらした。

1. 舞台芸術の国際文化交流の拠点として我が国の国際的プレゼンスの向上

指標) 1-1-1. 海外作品を10回/年実施する。

実績) H30: 6件/H31:11件/R2: 0件/R3: 0件

指標) 1-1-2. 海外アーティストを10件/年招聘する。

実績) H30: 6件14名/H31: 5件11名/R2: 1件2名/R3: 0件

指標) 1-2-1. 国際共同制作 3 件/期間中合計を実施する。

実績) 期間中合計 2 件計画

指標) 1-3-1. 海外劇場・コンサートホールと継続的関係を目指した文書を交わす館を 3 館/期間中合計をつくる。

実績) ・シャイヨー劇場公演・交換プログラム、パリ日本文化会館公演、ロンドンソーホー劇場公演、韓国国立明洞芸術劇場との交換プログラム

・音楽はフィルハーモニー・ド・パリとの提携協定締結に向け交渉を継続中。

・演劇は国家両庁院(台北)・韓国国立劇場(ソウル)・エスプラナード・シアター(シンガポール)と国際共同制作に取り組む3年計画の「アジア・コネクション・プロデューサーズ・クリエイション(ACPC)」準備に着手。

国際文化交流はコロナ禍により最も打撃を受けたが、オンラインにより情報交換は盛んに行われ、R4以降の交流の準備につながった。当館のプレゼンスは、演劇分野ではACPCへの参加が求められ、またR4年度には芸術監督の作品がロンドン、台湾で上演されるなど、海外でのプレゼンスが高まってきている。音楽分野では、海外著名指揮者が頻繁に登場するようになりマエストロによるロコミが広まり、来日公演での指名ホールに入れられるようになるなど、欧米のオーケストラ界でコンサートホールの評判が高まっている。

2. 全国の劇場・音楽堂との交流活性化による鑑賞及び文化芸術活動を行う国民の拡大

指標) 2-1-1. 他都市劇場の作品等を4作品/年上演する。

実績) H30: 2作品/H31: 4作品/R2: 2作品/R3: 0作品

指標) 2-1-2. 芸劇作品を他都市劇場等で4作品/年上演する。

実績) H30: 5作品/H31: 3作品/R2: 2作品/R3: 1作品

指標) 2-1-3. 他都市劇場・音楽堂から1名/年以上のスタッフを受け入れる。

実績) H30: 1名/H31: 1名/R2: 0名/R3: 0名

指標) 2-1-4. 共通課題解決のための講習会等を、10件/年以上開催する。

実績) H30: 舞台技術1件/人材育成12件、H31: 舞台技術2件/人材育成10件、R2: 舞台技術1件/人材育成9件、R3: 人材育成7件

作品上演の交流数は計画を下回ったが、制作人材育成により育った人材が、4年間で8名、全国の劇場などに就職し活躍していることは、国レベルでの芸術鑑賞機会の継続的創出に役立ち、ひいては、国民の芸術文化鑑賞・活動拡大につながっている。

3. 地域コミュニティの創造と再生

指標) 3-1-1. 各年代(子供+子育て世代、小中高生、大学生、高齢者等)向けプログラムを各年代1件/年以上。

実績) H30: 8件/H31: 7件/R2: 3件/R3: 0歳・未就学児(子育て世代)1件(0才4才コンサート)、小中高生、大学生3件(こどもらくご、ジュニアアンサンブル、音大オケ)、高齢者向け0件

指標) 3-1-2. 障害を持つアーティストが実演家として参加するプログラムを2件/年以上実施。

実績) H30: 1件/H31: 1件/R2: 1件/R3: 0件(事業拡大のため、別助成金にて実施)

指標) 3-1-3. 鑑賞サポートを20回/年実施する。

実績) H30: 8事業20回/H31: 5事業20回/R2: 3事業8回/3事業3回

指標) 3-2-1. 地域資源(豊島区、地域の大学との連携等)を活用した事業を5件/年実施する。

実績) H30: 5件/H31: 5件/R2: 3件/R3: 1件

指標) 3-2-2. 2020年度以降、池袋西口公園と連携したイベントを3件/年実施する。

実績) H30: 1件15公演/H31: 公園工事中/R2: 0件/R3: 0件

R2、R3 年度、計画を下回ったのは、コロナの影響である。R4 は順調に回復しており、アート&カルチャー都市に進化している豊島区と連携し文化による街づくりの一翼を担い、子育て世代、障害者等の孤立を防ぎ、地域における社会的課題解決に寄与している。2014 年、消滅可能性都市の指摘を受けた豊島区は、今や、共働き子育てしやすい街 No. 2 (2020_日経 DUAL)、住みたい街 No. 8 (2020_suumo) に選ばれている。

4. 来場者数・ファン数の拡大による鑑賞活動を行う国民の拡大

指標) 4-1-1. 東京芸術劇場の来館者数 150 万人/年を目指す。

実績) R2 年度にオリパラ期間中の手荷物検査実施数から年間来場者数を推計すると、 $120,000 \text{ 人} \div 45 \text{ 日} = 2,666 \text{ 人}$ → 約 $2,600 \text{ 人} \times 340 = 884,000 \text{ 人}$ となる。

指標) 4-1-2. フェイスブックフォロワー数 8,000/計画期間中、ツイッターフォロワー数 10 万人/計画期間中

実績) FB フォロワー数=6,507/ツイッターフォロワー数= 97,560/YouTube 登録者数=4,290

東京都「文化に関する世論調査」によると、東京の文化振興をさらに発展させるために東京都が積極的に進める必要がある取組として、「子供の頃から美術館や劇場に親しめる環境を整備する」との回答割合が最も高かった。次いで、「魅力的な内容であること」、また、「若い芸術家の育成・支援」が 3 位となっている。当館が重点的に実施している事業が支持されていることが読み取れる。また、都が力を入れるべき分野として「文化・芸術の振興」と答えた都民の割合は、2019 年のコロナ前が 4.4%、2020 年のコロナ時が 8.8%と上昇していることから、この間の都の文化振興が評価されていることが読み取れる。

目標には達しなかったが、H30/4 月現在のツイッターフォロワー数が 87,304 であり、4 年間で約 10,000 人増加したのは、これらの取組みにより当館のファン拡大につながったといえる。

5. 舞台芸術のネクストジェネレーションの増加

指標) 5-1-1. 芸劇ウインド修了者から 20 名以上のプロを輩出する。

実績) 計 9 名 (プロの楽団・グループ入団: 8 名、ソリストとしてマネジメント所属: 1 名)

指標) 5-1-2. 東京芸術劇場プロフェッショナル人材養成アカデミー修了者からの専門人材輩出 10 名を目指す。

実績) 計 9 名

指標) 5-1-3. 東京演劇道場からの大・中劇場クラスへの出演者を 20 名輩出する。

実績) 計 24 名

指標) 5-1-4. 障害者アーツ事業指導者を 10 名養成する。

実績) 計 12 名養成、他 4 名が受講中

目標に達しなかった指標もあるが、アーティストも制作者も確実に次世代が育成できている。

6. 持続可能な創造活動の体制確保

指標) 6-1-1. 外部講師の引き受け件数 10 件/年以上

実績) H30: 17 件/H31: 20 件/R2: 7 件/R3: 32 件

指標) 6-2-1. 民間協賛金 20,000 万円/年以上の確保

実績) H30: 20,874 千円/H31: 27,000 千円/R2: 17,423 千円

主任級・主事級の職員も都立総合芸術高校で講師を務めるなど職員の専門性・能力が向上している。民間協賛金は開館 30 周年の H31 年度には大きく伸びたが、その後はコロナ禍による企業の業績悪化が響き減少傾向である。その分を、国の助成金で補っていただき、経営面、人材育成面で、持続可能な体制を確保できたといえる。

(3) 効率性 (平成30年～令和3年度 4か年分)

自己評価

アウトプットに対して、事業期間が適切で、当初の計画通りに進んでいるか。

平成31年度2月末から、新型コロナウイルス感染症の影響により、計画変更が発生した。当初は、対応方法も定まらず中止が多くなったが、業界のガイドライン策定が進み、徐々にウィズ・コロナでの事業推進に取り組んだ。令和2年度の計画変更が大きくなったが、令和3年度は、徐々にウィズ・コロナの対応が進んできたといえる。

平成30年度

○入場者数・参加者数について

目標：24,685人 実績：22,126人 達成率：90%

実施期間の変更：なし

平成31年度

○入場者数・参加者数について

目標：40,632人 実績：29,827人 達成率：73%

令和2年2月26日に政府から「大規模イベントの自粛」が要請され、その後計画していた公演を中止した。中止公演の入場者数目標値の合計が8,800人となり、中止公演を除くと、目標値31,832人、達成率は94%。

実施期間の変更：ウインド・オーケストラ・アカデミーは、3日間の練習の後2月29日に年度末公演を予定していたが中止。東京佼成ウインドオーケストラの指導最終年だったために集大成として、その正指揮者大井剛史による指導と成果発表を予定していたが、2日間の指導まで実施したところで自粛要請に従い中止の判断をせざるをえなかった。野上絹代演出「カノン」は、3月2日から15日まで本番を予定していたが、稽古は行き完成していたものの本番は中止とし、R3に延期して実施した。その他、3月29日の音楽大学オーケストラ・フェスティバル、3月31日の「0才&4才春休みオーケストラコンサート」など、5事業21公演を中止としたことが目標未達の大きな要因となった。

令和2年度

○入場者数・参加者数について

目標：38,879人 実績：14,732人 達成率：38%

実施期間の変更：緊急事態宣言により年度スタートから2か月以上の臨時休館と、水際対策による海外オーケストラ公演の中止など、助成対象の7事業22公演を中止または延期した。そのため、目標には大きく届かない結果となったが、中止とした事業もできる限り延期をして実施したり、その一部を映像配信プログラムに変更、あるいは、実施できた公演の無料映像配信を行うなど、当館の活動が止まらないよう様々な工夫をした。

令和3年度

○入場者数・参加者数について

目標：36,848人 実績：30,978人 達成率：84%

実施期間の変更：春に2週間の休館があり、その後イベント制限は緩和されていき秋には満席にできるようになるが、お客様の出控え買い控えが続いたこと、また、水際対策の緩和は年度最後からようやく少しずつ始まったという状況のため、海外オーケストラやTACTフェスティバルなど対象事業5事業61公演を中止または延期、1事業をオンラインプログラムに変更して実施した。H31末から延期して計画していた「カノン」は、関係者から陽性者が発生し、稽古を中断、初日を何回か延期しながらの実施となった。制作担当が粘り強く対応し完全中止にせずに実施できたことは、特別な公演になり、当館の姿勢を示した事業として注目された。

自己評価

アウトプットに対して、事業費が適切で、当初の計画通りに進んでいるか。

事業期間同様、事業費も令和2年度の影響が最も大きく、徐々に、ウィズ・コロナの事業運営が実現できはじめている。

平成30年度

○助成対象経費の総額は、要望時 324,511,000 円に対して、決算時は、229,733,649 円であった。変更額は、▲94,777,351 円で、当初の見込みより 29%減少した。大きく費用を削減した事業としては、オペラ『ソラリス』。芸術面では高く評価されたが、現代オペラの演奏会形式は集客に苦戦が予想され、チケット収入見込みを見直すと同時に担当者の粘り強い努力により制作費を削減した。その他、藤田貴大『BOAT』の制作費減、『書を捨てよ、町に出よう』は開催都市増加による共通経費の按分額が減少した。一方、費用増となった事業としては、勅使川原三郎公演『月に憑かれたピエロ』『ロスト・イン・ダンス』。勅使川原氏の美学が存分に表現された舞台となったが、その実施計画を立てる中で、よりよいものを作るために、当初企画段階より演奏家の数を増やしたり、音楽制作料、舞台美術・衣裳等についても当初よりもコスト増となった。

平成31年度

○助成対象経費の総額は、要望時 286,556,000 円に対して、決算時は、238,361,515 円であった。変更額は、▲48,194,485 円で、当初の見込みより 17%減少した。

大きく費用を削減した事業は、公演中止となった『0才&4才春休みオーケストラコンサート』『音楽大学オーケストラ・フェスティバル』。年間通じてキャリアアップゼミや演奏指導は行ったが、年度末演奏会を中止とした『芸劇ウインド・オーケストラ・アカデミー』、本番直前までの稽古を実施したが本番を中止した『カノン』は、経費が30%程度削減となった。2月末から3月にかけて計画していた事業の中止が大きく影響した。

令和2年度

○助成対象経費の総額は、要望時 241,127,000 円に対して、決算時は、99,671,023 円であった。変更額は、▲141,455,977 円で、当初の見込みより 59%減少した。

大きく影響した事業は以下である。TACT フェスティバルは、フェスティバル事業自体を中止、ファミリーコンサートはオンライン上で音楽を共に奏でる映像企画に転換した。ダンス公演『マキム』は11月にプレイハウスで上演したが、経費は約2,300万円の削減となった。『木ノ下歌舞伎』は、4月中旬に予定していた稽古の開始直前に、緊急事態宣言が発令され、稽古場や劇場も閉館となった。5月頭までは、オンライン上で台本の読み合わせや歌舞伎俳優の芝居をコピーする劇団独自の稽古などを進めていたが、その後も、新型コロナウイルス感染症の収束が見られず、やむなく公演の中止を決定した。結果、約3,200万円の削減となった。『フィガロの結婚』は、新型コロナウイルス感染症の影響により全体的な収支状況悪化により新たな財源を確保するために、経費の切り分けを行った上でJ-LODliveへ申請した。その結果、対象経費(約5,000万円)が大幅に圧縮された。

令和3年度

○助成対象経費の総額は、要望時 278,119,000 円に対して、決算時は、179,631,439 円であった。変更額は、▲98,587,561 円で、当初の見込みより 35%減少した。

水際対策により、海外オーケストラシリーズ中止、TACT フェスティバルの海外招聘の中止により約1,600万円の減。その他、収支改善のために、『冬のライオン』『もしもし、こちら弱いい派』など、経費削減努力をした。また、『パンドラの鐘』は、新型コロナウイルス感染症の影響から全体的な収支状況悪化により新たな財源を確保するために、助成対象事業から取り下げてJ-LODliveへ申請した。その結果、対象経費(約4,700万円)が大幅に圧縮された。

(4) 創造性 (平成30年～令和3年度 4か年分)

自己評価

事業計画の内容が、独創性、新規性、先導性に優れている(と認められる)か。

平成21(2009)年より芸術監督に就任した野田秀樹は、圧倒的な実力、時代の鋭い分析力と作品を通しての提言、リーダーシップをもって当館のラインナップを創造性豊かに編成し続けてきた。加えてコロナ禍の起こったR2年からはアーティストとスタッフが活動を継続する環境づくりのため「緊急事態舞台芸術ネットワーク」の創立に尽力し、日本の演劇業界全体を牽引する発言と行動を展開している。音楽分野については、H26年から事業企画課長、R3年から副館長に就任した鈴木順子が、サントリーホールやラ・フォル・ジュルネ音楽祭プロデュースの経験を活かし、質の高いクラシックコンサートの継続的提供と共に、世界の大都市のホールに並ぶ未来の音楽シーンを創り出す事業を定着させている。

この二人の創造的牽引力に加え、芸劇が持つ世界に二つとないパイプオルガンを活かすため、正オルガニストとして小林英之と副オルガニスト3名に委託、また、人的資源としては芸劇オーケストラ・アカデミー・フォー・ウインド、東京演劇道場といった若手アーティストを擁し、自主事業や外部公演での活躍の場を提供している。共催・提携の相手先として音楽においては読売日本交響楽団、演劇では、大手のカンパニーや実力のある若手劇団、兵庫・北九州・松本・新潟・水戸・宮崎などの地方公共劇場と協働している。国際的には、近年、台湾、韓国、シンガポールの名門劇場と共同制作に取り組むなどアジアとのネットワークに注力している。

音楽部門

●独創性

R2年秋のシアターオペラ「フィガロの結婚」の再演は、コロナ禍で入国出来なかった外国人アーティストの代役にあわせて、芸術監督の野田が台本を見直し、新たに演出。初演時を凌駕する内容となり、共同開催で行ったミュージア川崎、北九州芸術劇場での公演を含めて完遂した。

R2年「TACT フェスティバル」では、中止となった代替企画として、出演予定だった鈴木優人、石丸幹二、読響と一般公募した参加者(250人)がオンライン上で共演した映像を配信し、11,354回再生された。R3年は一部無観客公演を映像収録し、無料配信を実施。コロナ禍による中止公演を様々な工夫を凝らし新たな発信に繋がった。

●新規性

以下3事業を、先駆的な創造活動の成果としてあげる。

H30年藤倉大の初のオペラ作品「ソラリス」日本初演を演奏会形式で実施した。世界的に活躍している歌手を招聘、日本の若手歌手陣も起用。企画段階から全ての制作業務を劇場のスタッフが担い、外国人招聘、演出、音響、舞台照明等現代オペラに挑戦したことは価値あるものであった。藤倉は、この1年間の活動が評価され、平成30年度 芸術選奨音楽部門 文部科学大臣新人賞を受賞。日本国内での評価が高まった。

上演される機会の少ない名作品を取り上げるコンサートオペラシリーズは、劇音楽として全曲版が日本初演となる「アルルの女」を、プーランクの「人間の声」とあわせて上演した。お客様の反応はもちろんのこと、朝日、日経など公演評において高評価を獲得。その希少性も含め、公共劇場が制作する内容として大変相応しいものとなった。

シンフォニック・ジャズ企画のプロデューサーに米ダウンビート誌の「未来を担う25人のジャズアーティスト」にアジア人で唯一選出された挟間美帆を起用。演奏は東京フィルハーモニー交響楽団。毎年題材を変え、挟間が新たな新曲や編曲作品を提供しゲストも迎えることで、ジャズ×オーケストラの魅力の普及につとめた。

クラシックのみならず、ジャズファンなど幅広い層に向けた芸劇の夏の企画として定着しつつある。

●先導性

芸術水準の向上が期待される優れた公演活動として、以下3点をあげる。

H30年、エサ＝ペッカ・サロネンが首席指揮者として率いる最後の公演であるフィルハーモニア管弦楽団演奏会を実施。3日間に渡るコンサートは、音楽の友による2020ベスト・コンサートの第1位に選ばれた。また、バーチャル・オーケストラ体験やグローバルリングでの映像コンサートを実施し、新たな聴衆の創出に貢献した。

コンサートホールのシンボルでもある世界最大級のパイプオルガンを生かした「オルガン・ア・ラ・カルト」では、年間を通じて、ナイトタイムコンサート、ランチタイムコンサート、レクチャー形式のオルガン講座と、多彩なバリエーションのあるプログラムを毎月実施。H31年には合唱を伴う委嘱新作の初演や、オーストリアからオルガニストの招聘を行い、年間を通じて意欲的な活動を実施し、当日配布するプログラムには、初心者でも馴染めるよう小ネタも含めた丁寧な解説を掲載。NHKの8K収録も実施。鑑賞機会及びファン層の拡大を図った。

H26年からスタートした芸劇オーケストラ・アカデミー・フォー・ウインドは、日本のプロフェッショナル若手管打楽器奏者のレベルアップを目的とした若手演奏家育成事業として、R3年からミュージック・アドバイザーにホルンの福川伸陽を迎え、日本国内外で活躍するオーケストラ奏者・ソリスト14名を講師として新体制で運営を開始。音楽家として活動するための必要な知識を得るための「キャリアアップゼミ」、音楽的レベルの向上を目指す100コマを超える「レッスン」、そして学びを実践する「コンサート」と、3本の柱から成り立つプログラムで国内でも稀有な育成プログラムである。卒団生の実績は、プロのオーケストラやグループに8名、ソリストとしてマネジメントに所属した者1名を輩出。

ダンス部門

●独創性

H30年度、勅使川原三郎『月に憑かれたピエロ』は、シェーンベルクの無調音楽をダンス化するという難易度の高い試みを、勅使川原が独自の舞踊メソッドを駆使して形にした。日本の実力派演奏家たちのアンサンブルとソプラノ歌手マリアヌ・プスールの独特な唱法とを調和させた舞踊作品は、現代舞踊上演史にも刻まれる完成度となった。

H31年度の現代ダンスカンパニー「ローザス」招聘公演は、ジョン・コルトレーン『至上の愛』、J.S.バッハ『我ら人生のただ中であって／バッハ無伴奏チェロ組曲』の2作を上演。モダン・ジャズの傑作とバロック音楽の名曲という、一見かけ離れたような音楽を振付家のアンヌ・テレサ・ドウ・ケースマイケルの高度に分析的な振付でダンス表現に昇華させた作品は、極めて知的なアプローチでありながら、根源的な魂からの表現を掬い上げた。コンテンポラリーダンス最前線の表現を、現代の日本の観客に提供することができた功績は大きい。

R2年度の芸劇dance 田中泯『村のドン・キホーテ』は、ドラマトゥルクの松岡正剛がセルバンテスの原作を丹念に読み込み、田中泯の身体表現にリンクする詩的言語を紡いだ。オペラからジャズまで多彩な選曲、舞台空間を大胆な造形美で満たして踊る田中泯は、演出家としても抜群のセンスを見せた。一方で田中は若手からベテランまで舞台関係者全てにインセンティブを与え、スタッフワークにおいても良い意味での共同制作意識を高めた。

●新規性・先導性

同年度の芸劇 dance ワークショップ『東京ディグ/ライズ2』は、居住地に根差した意識を起点にするダンス表現を目指すというユニークなコンセプトを引き継ぎ、ワークショップの方法論を発展させた。特にコロナ禍中でオンラインでのワークショップを行い、ステイホームという状況でもダンス表現を追及できる可能性を示した。劇場での発表公演は北尾亘の巧みな構成によって参加者から観客まで巻き込む「コロナ禍の夏」を描き出し、大きな喝采を浴びた。

R3 は芸劇 dance ワークショップ『東京ディグ/ライズ ワンダーゼミ』という映像での発表を目指すスタイルとして、講師陣に映画監督、写真家を配し、夏期から冬期までロングタームのゼミ形式で行った。冬期には芸劇でのロケ撮影も敢行し、最終日に映像作品を発表した。ダンスをモチーフに日常から発想した瑞々しい感性に溢れた受講者たちの作品が完成し、舞台、映像、ホームを掛け合わせたワークショップの新しい可能性を示すことができた。

演劇部門

●独創性

野田芸術監督が見出した、既存の枠組みを越境する若手の逸材に、大空間での演出や海外公演など新たな挑戦となる文脈で飛躍的成長の場を与えているマームとジプシーの藤田貴大に H30 には寺山修司作品「書を捨てよ、町へ出よう」演出で日本国内とパリでの公演、830 席のプレイハウスでの新作「BOAT」公演という機会を与えた。また、H31 に企画した「カノン」は、快快の野上絹代を起用、フィジカルシアターの演出により野田戯曲の新たな魅力を掘り起こした。野上が演劇 5 大学公演で本作を演出した成果に目をとめた野田芸術監督が、プロの俳優での上演に抜擢した渾身の一作。R2 に企画した木ノ下歌舞伎とのジョイント企画「三人吉三」はプレイハウスの大空間で通し狂言を上演するという企画だった。(コロナにより中止)これらのアーティストが当館での活動を経てステップアップしていることからネクストジェネレーション増加のアウトカム達成を果たしている。H30 の「朗読東京」は東京にまつわる小説の朗読とトークという企画だが、この助成を受けてスキームを見直し、R3 からはナビゲーターを木ノ下裕一にバトンタッチして、歌舞伎を切り口に東京を探る配信企画「歌舞伎ひらき街めぐり」として引き継いだ。

●新規性

R2 の「赤鬼」では、東京演劇道場生それぞれの個性を引き出す野田演出により、躍動する若い肉体が実演芸術の魅力をアピールした。無名の役者たちによる公演を自主事業で行うのは初めてのことだったが、追加公演をうつ盛況ぶりを達成した。R3 の「もしもし、こちら弱い派」は、13 年継続している「芸劇 eyes」シリーズの中で「番外編」にあたり、注目されているがまだ芸劇で単独公演を行う実績はない活動初期の複数の団体のオムニバス公演である。時間と手間がかかり、なかなか実施できない事業だが、この助成を受けて体制を整えたことにより 7 年ぶりに実現することができた。社会の中の弱い立場に自らの居場所を置く若いクリエイターたちのかそけき声を聞く、という新規なコンセプトを打ち出して注目を集めた。毎年ゴールデンウィークに実施している TACT フェスティバルは、子供と大人が楽しめる演目をラインナップしているが、特に「ブランカ・リー」等海外から招聘した大人の鑑賞に十分堪える質の高いフィジカルシアターを紹介することで新規性を達成している。H31、R2 は新たに実施した TACT こども落語は、家族で楽しむファミリー寄席という新たな切り口を開拓した。

●先導性

現代性に富む質の高い作品を、実力のある演出家、スタッフ、キャストで上演することにより日本の芸術水準の向上に資することを目指した。H30 の「父」は世界中で上演され、ハリウッドで映画化もされた最新ヒット作品だ。野田芸術監督の信頼の篤い名優 橋爪功を主演に、本作の世界初演をてがけた演出家をフランスから

招聘。「老い」という社会問題を扱いながら、非常に高い演劇性をもつ上質な舞台で全国の観客を魅了した。R3の『冬のライオン』は英国王朝を描いたドラマを現代に通じる家族劇として大胆に読み直した。実力あるキャストが繰り広げる丁々発止のやりとりはコロナ禍の観客に観劇の醍醐味を提供した。また、世界の都市との文化交流による優れた公演活動については、継続的に協働している韓国ナショナル・シアターカンパニーが星新一のショートショートをオムニバスで構成して制作した「ボッコちゃん」を野田のアドバイスで作品を練り直して日本に招聘した。

自己評価

事業の実施によって、当該劇場・音楽堂等の国内外での評価の向上につながっている（と認められる）か。

以下、公演評やアンケートなどにより、当館の評価向上につながったと認められるものを記載する。

音楽部門

●R2 シアターオペラ：「フィガロの結婚」～庭師は見た～

「キャストを一部変更し、演出の細部もおそらく多少整理されて、5年前の印象より演出意図が明確に浮かび上がる舞台となった。出演者は一様に皆芸達者で音楽面も整い、コロナ下とは思えないほどにぎやかで、型破りの面白さがある。」（2020年11月20日 モーストリー・クラシック 公演レビューより）

公演アンケートによる満足度：100%

●TACT フェスティバル

緊急事態宣言による公演中止にも屈せず、代替企画を提供。オンラインでの鑑賞機会を提供。

R2 公演中止に伴うオンライン共演映像配信：11,354回再生

R3 無観客開催となったことでの映像配信：2,946回再生（期間限定1ヶ月）

●H30 コンサート・オペラシリーズ 藤倉大：オペラ「ソラリス」 公演アンケートによる満足度：90.1%

藤倉大が、平成30年度芸術選奨音楽部門 文部科学大臣新人賞受賞。

●R3

コンサート・オペラシリーズ プーランク：オペラ「人間の声」、ビゼー：劇音楽「アルルの女」

「翻訳した台詞の朗読とあわせた音楽劇として、全曲を演奏する。こうすると、音楽の明朗で外向的な活力を、戯曲の暗鬱で内攻的な苦悩と対比させることで、ドラマに深く結びつけたビゼーの天才ぶりがよくわかる。（省略）松重豊と東京演劇道場のメンバー3人が朗読を好演。オーケストラは、俊敏な反応で人間心理を活写し、合唱団は力強く劇的に、悲恋の物語を盛り上げた。」（2022年1月26日付日本経済新聞公演評より）

公演アンケートによる満足度：96.2%

●H31、R2、R3 芸劇 NEO-SYMPHONIC JAZZ at 芸劇

「新しい世代による、新しいシンフォニック・ジャズの魅力が展開された一夜」（2019年10月12日付掲載「ジャズライフ11月号」より）

公演アンケートによる満足度：（H31）95%（R2）100%（R3）93%

●H31 エサ＝ペッカ・サロネン指揮フィルハーモニア管弦楽団（2019年10月12日付掲載「音楽の友」より）

●オルガン・ア・ラ・カルト

コロナ禍ではあるにもかかわらず、R3のオルガン・ア・ラ・カルトの入場者数（6,109名）が、H30の入場者数（6,101名）を、わずかだが上回ったことは特筆に値する。

●芸劇オーケストラ・アカデミー・フォー・ウインド（GOA）

日本のプロフェッショナル若手管打楽器奏者のレベルアップを目的とした若手演奏家育成事業。「キャリアアップゼミ」、「レッスン」、「コンサート」と、3本の柱から成り立つプログラムと丁寧なサポートで、国内でも稀有な育成プログラムの実践に繋がられている。

【卒団生実績】プロのオーケストラやグループに8名、ソリストとしてマネジメントに所属した者が1名輩出。

【アカデミー生アンケート】 アカデミーの満足度 96.25%

レッスンの満足度 93.75%

ダンス部門

H30、勅使川原三郎『月に憑かれたピエロ』については、音楽、身体、光、舞台美術がポリフォニックに響き

あうトータルシアターとして高い評価を得た。「音楽、美術、ダンスのすべてが闇のなかの閃光を見るような雰囲気醸し、その超現実的な力に圧倒された」（ダンスマガジン 2019 年 3 月号 舞踊評論家・石井達朗氏より）

H31、ローザス公演については、振付家のインテリジェンスが多くの評論家の論考を促した。「ケースマイケルのダンスは数学原理が秘めた美を解き放ち、未知の次元へと観客を導いていくのだ。（中略）「A Love Supreme ~至上の愛」は、インド哲学、カバラの思想—ここにも数学が潜んでいる—からもインスピレーションを得たといわれる曲と融け合い、秩序と即興の狭間をスリリングに疾走し、観る者を陶醉へといざなう。（中略）「我ら人生のただ中であって／バッハ無伴奏チェロ組曲」は、床に描かれた幾何学図形も作品の鍵だが、振付の立位と臥位、前進と後退、集団の遠心性と求心性もまた象徴的な意味を担い、魂に深く語りかけるライブ演奏のチェロの響きと共に、崇高の境地を追い求めてやまない人間精神の旅を喚起する」（舞踊評論家・岡見さえ氏 タワーレコード intoxicate 2019 spring/summer）

R2 の芸劇 dance 田中泯『村のドン・キホーテ』は、第 15 回日本ダンスフォーラム賞（JaDaFo 賞）大賞を受賞。「舞台に死体で登場した田中泯は、幕切れで戦いに挑む馬上の騎士となる。その颯爽たる姿はドン・キホーテの名を借りた英雄に見える。同時に現実の田中泯自身にも見える。この眼光するどい老人はこれからどこへ突っ込もうとするのか。観客は筋書きもわからないのに、つい彼自身の決意に感動してしまう。田中は「場踊り」とは反対のやり方で、しかも演劇とは別のやり方で、何かを切り開いたのである」（舞踊評論家・尼ヶ崎彬氏 日本ダンスフォーラム大賞選評より）

R2、R3 の芸劇 dance ワークショップ事業では、参加者それぞれが受講について確かな手応えを得て、それぞれの表現活動の場に散開していった。ダンス公演を準備する者、映像制作を続ける者、カンパニーを立ち上げた者、大学で研究に入る者など進路は様々だが、大いなるフィードバックを期待したい。

演劇部門

●TACT FESTIVAL (平成 30 年度～)

毎年アンケート集計で 95%を超える満足度を獲得し、平成 30 年フランスから招聘したダンス公演「ブランカ・リー Solstice」では「ダンサーたちのレベルの高さも圧巻」「こういうのを観ると劇場通いをしてしまおう」「楽しい。こんなの見たことない、ありがとう」、平成 31 年にイギリスより招聘した 1927 {獣よ子供よ街へ出よ}では、「今回の 1927 のように意欲的な新しい表現を持ってきてくれるとても面白い企画」と大人も満足する評価を獲得し、一線を画す評価を得ている。

●平成 30 年度

「書を捨てよ、町へ出よう」はアンケートで「寺山さんが生きていたら喜んでいると思います」「新しい価値観をいつも与えてくれる藤田さんはすごい」という評価を得、舞台美術、ミナペルホネンの衣裳も好評を得た。同じく藤田作品「BOAT」は満足度 86.1%、初めての来館者 38.3%を獲得、「悲劇喜劇」など劇評 2 本を獲得した。アンケートでは、新境地に挑む藤田の心意気、ハイセンスなビジュアル表現が評価を集め、芸劇との継続的な協働が支持された。「朗読東京」は、沢木耕太郎が円谷幸吉の遺書を描いた文章等が朗読され、「来年の東京オリンピック前に見ることが出来てよかった」「東京生まれ東京育ちの私でも知らなかった東京を知れてよかった」との反応、東京都の劇場としての当館のイメージを訴求できた。「自作自演」では永井愛と長田育江がそれぞれ自作を朗読し東京新聞の劇評で、「俳優が発する台詞とはまた違う味わいがあり、作品の深みを感じさせた」と評され、アンケートでは「トークは作品ができるまでの苦労話も聞けて面白かった」、と作品作りの過程観客に見せて、評価を頂いた。

「父」はこの年度 第27回読売演劇大賞において橋爪功が、大賞・最優秀男優賞、作品が最優秀作品賞、若村麻由美が優秀女優賞を受賞、橋爪は同年の菊田一夫演劇賞も受賞した。劇評は新聞大手5社ほか各紙、ウェブ3媒体に掲載されいづれ劣らぬ高評価だった。「すべてを語りぬ巧みな作劇と簡潔な演出が濃密な世界を生み出す、優れた舞台」(2019年2月21日付朝日新聞劇評より)、「いたたまれなくなるほどリアル」(2019年2月19日付読売新聞劇評より)、「達者な俳優陣が「これぞ演劇」の醍醐味を味合わせてくれる。」(2019年2月14日付毎日新聞劇評より)「老いに向き合うことの困難さが切実に浮かび上がる興味深い舞台」(2019年2月15日付日本経済新聞劇評より)、「今作が画期的なのは、認知症の人から見える主観的世界を巧みに描写した点にある」(2019年2月9日付産経新聞劇評より)「ユーモアと手品のような仕掛け…時代をとらえた必見の舞台」(2019年2月21日付公明新聞劇評より)、「橋爪に脱帽…老人の頑迷と臆病、そして孤独をひしひしと伝えた。」(2019年2月20日付赤旗劇評より) 世界を席卷したヒット作をタイミングよく上演したことにより、当館の発信力への評価が大いに高まった

●平成31年度

韓国ナショナル・シアターカンパニーを招聘した星新一原作「ボッコちゃん」公演では満足度87.8%、初めての来館者28.6%を得た。星新一の作品ファンという新しいマーケットが劇場に初めて足を運び、韓国の俳優の身体表現力に感嘆した。当館の国際的取り組みへの評価が高まった。

●令和2年度

コロナによる劇場閉鎖が解け、公演再開第一弾事業となった「赤鬼」は、野田芸術監督が東京演劇道場所属の若手俳優たち4チームによる長期公演に取り組むことで、注目を集めた。観客からは「差別や偏見が広がるこの世界・この時代に皆様の演じるこの舞台に出会えたことは僥倖」「生で目の前で息づく演劇の力を感じた」「どうか劇場の灯を消さないでほしいです。感動は人間にとって生きる希望だから」「演劇は死んでいない」「今の疑心暗鬼に陥っている日本のありさまとともリンク」といった感想が寄せられた。また無名な出演者にも関わらず劇評が4紙掲載された。「見ごたえがある…野田から次世代へ。名作は確かに手渡された」(2020年8月13日付朝日新聞劇評より)、「野田の演出は、素材のマリアージュを作り出す熟練の料理人のよう」(2020年8月11日付読売新聞劇評より)、「一人一人が熱のこもった芝居で、観客の集中力をとぎれさせない」(2020年8月13日付毎日新聞劇評より)など当館の先進的取り組みに評価を得ることができた。

●令和3年度

「芸劇 eyes 番外編 弱い派」は、初めての来館者を21.1%獲得するなど、新たな観客層の掘り起こしに貢献。ウェブで劇評が掲載された他、アンケートでは、「弱さというものについて考えました」「この企画は短いスパンで定期的に続けてほしい」「どの劇団もこれから次回作を観たくなった」など企画主旨に賛同するコメントが多く寄せられた。「カノン」は平成31年の公演中止からの持ち越し企画だが、今回もコロナにより四度の初日延期を経ての執念の開幕に、アンケートにも熱い応援の言葉がつづられ、満足度は92%、アイデア豊かな野上演出、小劇場の実力派中心のキャスティングの層の厚さが評価された。「弱い派」と並び、舞台芸術のネクストジェネレーションの増加に寄与した。「冬のライオン」は先導性に優れた事業として位置づけたもの。英国王家を描く歴史劇である本作を現代に通じる家族劇と捉えた演出が高く評価され、森は本作等により菊田一夫賞を受賞。劇評も複数紙獲得し、「鮮烈な舞台を作る森新太郎が喜劇性を強めて演出した。笑わせながら、戦争や権力について志向を促す力強い作品…優れた演劇作品は、上演される時代の空気に感応し、新たな輝きを放つ」(2022年3月8日付読売新聞劇評より)「演出は毒々しい親族争いに喜劇の味を出してくる。ユニークにして難易度の高い現代化の試み…だまし、だまされる男と女に『夫婦善哉』風のおかしみがある」(2022年3月8日付日本経済新聞劇評より)といった評価を得た。アンケートは、「まさか現代風の衣装で俳優が出てくるとは!」「古代の異国の話のようでありながら、現代を描いていたと思わせられる不思議な舞台だった」「息つ

く間もない、息の合った会話の応答に引き込まれ、これこそ演劇と楽しく観劇できた」「気持ちが塞いでしまう今だからこそ、このような優れたお芝居が必要なのだなと実感した」といった回答を得た。良質な作品を広い観客層に届けることで当館の評価につながった。

(5) 持続性（平成30年～令和3年度 4か年分）

自己評価

事業計画を通じて組織活動が持続的に発展する（と認められる）か。

当館の運営は、設置者の文化政策推進のコアとなる事業であり、持続的に都の方向性に連動した事業展開が求められているため、令和3年度から6年間の指定管理を特命により選定された。令和2年度までの4年間と合わせ10年となったため、事業計画を持続的に推進していくことが可能となった。

以下、助成期間中に变化した組織活動について述べる。平成31年度終盤からは、新型コロナウイルス感染症の影響を受けたアウトプットとなっている。

○経営基盤の強化…設置者の負担金に加えて、施設利用料収入の安定化と外部資金導入に注力している。

・施設貸出収入（当館及び水天宮ピット）の安定的確保

H30：556,577,299円/H31：544,366,761円/R2：316,766,088円/R3：498,364,246円

・公的資金の獲得実績

H30：383,029,162円/H31：155,793,184円/R2：225,049,487円/R3：204,067,152円

・民間助成金の獲得実績

H30：53,274,244円/H31：20,536,328円/R2：5,386,612円/R3：13,841,366円

・企業等からの協賛金・寄付金の獲得実績

H30：20,874,000円/H31：22,240,000円/R2：24,882,500円/R3：16,972,502円

※R2は開館30周年に対する企業協賛金が増額した。

○職員の人材育成…職員が能力を発揮できる環境を整えるため、以下の取組を行った。

・常勤契約職員の固有職員化（雇用転換数）を活性化させている。その実績は以下のとおりである。

H30：1名/H31：1名/R2：2名/R3：2名

・他団体研修・所属財団研修参加実績（延べ人数）

H30：81名/H31：66名/R2：43名/R3：29名

・研修の充実

財団の研修制度、海外派遣研修などを活用している。

・情報セキュリティ研修、文書研修、契約事務研修、コンプライアンス研修、実践力向上（論文など）研修を毎年実施、汚職等非行防止研修（H30）、テロ対策研修（H31、R3）、ハラスメント防止研修（H31）、クリエイティブ・ウェルビーイング研修（R2）など、状況に応じて特別な研修を実施している。

・国内外の文化施設等への派遣研修制度を活用し、当館の舞台技術（音響）職員が、H31年度に2か月間フランスのシルクパフォーマーの創作現場で2か月間研修を行った。

・外部講師の引き受け件数…管理職、係長だけではなく、主任級、主事級職員も外部講師を務める実力を備えてきている。

H30：17件（大学院2件、大学11件、その他4件）

H31：20件（大学院2件、大学9件、高校1件、その他8件）

R2：7件（大学院1件、大学2件、高校1件、その他3件）

R3：32件（大学5件、高校22件、その他5件）→高校については、特に若手職員が講師となっている。

○各ジャンルの専門人材育成

・音楽

芸劇オーケストラ・アカデミー・フォー・ウインド

- ・プロフェッショナル演奏者の輩出数（期間中合計）

プロの楽団・グループ入団：8名、ソリストとしてマネジメント所属：1名 合計9名

・ダンス

ダンス分野の専門人材育成は、まだ端緒についたところであるので、数値を示すには至らないため、以下に述べる。R2から当館のダンス専門人材育成を助成対象事業に位置付けた。H30からダンスワークショップのモデルづくりをはじめ、H31にはそれをさらに進化させた新しいダンスワークショップ「東京ディグ/ライズ」を開催した。参加者は29名+オンラインで6名が参加した。講師は木ノ下歌舞伎主宰木ノ下裕一、廃品打楽器奏者の山口とも、世界の祭りを研究するライター大石始を迎え、ステイホームで出来るワークショップのあり方を探りつつ進めた。シアターイーストで行った発表公演はコロナ禍の中での創造としては奇跡的な完成度を見せて、クリエイションチーム、参加者、観客ともパンデミックを越えていく希望を見出す感動的な舞台となった。

R3：北尾亘がファシリテーター的役回りとなって「東京ディグ/ライズ ワンダーゼミ」を開催した。発表は舞台公演ではなく映像発表というスタイルを取った。講師にはダンサーで映画監督の吉開菜央、写真家の石川直樹、舞台美術家の杉浦充、映像作家・ドラマトルクの中瀬俊介、MPCプレーヤー、ビートメイカーのK0ney、コスチュームデザイナーの飯嶋久美子を迎え、夏期にレクチャー中心のワークショップを行い、冬期に映像制作を実践した。16名が発表した映像作品は映像ツールの進化に助けられるところはあるながらも個々の瑞々しい感性を反映したダンス作品映像となった。ダイジェスト版を編集し、芸劇チャンネルでの配信を準備している。

・演劇

東京演劇道場

- ・道場から大中劇場クラスへの出演者輩出数(期間中合計)

当館での公演出演：19名、他館公演出演：5名 合計24名

・制作人材の育成

東京芸術劇場プロフェッショナル人材養成研修

・公共劇場や芸術団体への就職者数

H30：1名/H31：3名/R2：3名/R3：1名

・主な就職先

H30：公益財団法人練馬区文化振興協会（練馬文化センター）

H31：岡山芸術創造劇場、豊岡演劇祭実行委員会事務局、国際交流基金

R2：東京芸術劇場、東京文化会館、一般社団法人ショー&パフォーマンス協会

R3：公益財団法人静岡県舞台芸術センターSPAC

○広報の充実

- ・多様な媒体を利用した発信を行うことで、当館の注目度をあげ、様々な取組の好循環を促す。

TV・ラジオ放送件数：H30/26件、H31/17件、R2/16件、R3/25件

新聞掲出件数：H30/294件、H31/203件、R2/100件、R3/187件

雑誌掲出件数：H30/682件、H31/955件、R2/224件、R3/350件

ホームページアクセス件数(PV) : H30/6, 459, 392、H31/6, 457, 658、R2/3, 860, 872、R3/5, 976, 468

ツイッターフォロワー数 :

H30/4月 : 87, 304、H31/4月 : 89, 241、R2/4月 : 92, 253、R3/4月 : 95, 455、R4/3月 : 97, 609

○主なネットワークの構築

コロナ禍において業界の危機的状況に対応するために R2 に結成されたネットワーク、緊急事態舞台芸術ネットワーク、クラシック音楽公演運営推進協議会に参画し、業界のガイドライン策定に協力、現在も活動を続けている。また、全国公立文化施設協会に加盟し、東京都公立文化施設協議会の会長館として、東京都内の加盟施設約 60 館との情報交換、連携に取り組んでいる。R3 には、全公文の経営環境部会の活動にも参画し、県域施設と市町村施設との連携活性化に取り組んでいる。

音楽系大学、演劇系大学と連携した事業の実施も引き続き行っている。

また、国際的には、世界約 60 か国 500 を超える組織が加盟する国際ホール組織 ISPA(International Society for the Performing Arts)に加盟して活動している。また、前述のアジアの若手プロデューサー育成のための ACPG (アジア・コネクション・プロデューサーズ・クリエイション) を組織、参加し、韓国、台湾、シンガポールの劇場とのネットワークを構築している。また、パリ、ベルリンなど、東京都の姉妹提携都市の劇場・音楽堂とのネットワークの構築に着手している。

自己評価

持続的なアウトカムの発現・定着が期待できるか。

アウトカムを持続的に発現させるために、上述のとおり、安定的指定管理期間を確保した。当館は都の指定管理者であると共に、政策連携団体として、R3 年度末に策定された「東京文化戦略 2030」の中で、当館が芸術文化のハブ機能を発揮し、国内外の施設とネットワークを形成し、共同制作・人材交流・情報の中心的な役割を担えるようにするという記述があり、助成事業における6つのアウトカムを実現することを後押しする位置づけが明文化された。（「東京文化戦略 2030 デジタルブック」より）

設置者の方針に基づき、「有効性」で述べたように、助成対象の4年間でのアウトカム発現は「コロナ禍による若干の遅れはあるものの、オンラインの活用などによる新たなアプトプットが実現されるなど、それぞれのアウトカムにおいて質的变化をもたらした」と位置付けている。

また、設置者による「指定管理者管理運営状況評価」の結果は、総合評価が、H30はA+、H31はS、R2はAと、継続して高く評価されている。インプットとして位置付けている「健全な経営基盤」にあたる「管理状況」は、毎年計画通りに達成と評価されている。アウトプットとして位置付けている事業の実施については、「事業効果」の項目で、毎年水準を上回ると評価されている。また、アウトカムの実現として位置付けている「方針と目標の達成状況」については、H31は水準を上回る（概ね110%以上）達成、その他は計画どおりの達成と評価された。

さらに、持続的なアウトカムの発現・定着につなげるため、その後の大きなインパクトを発現するため、以下のPDCAサイクルを回して、事業を継続していく。

